



Wi-Fi STATION

SH-52A

取扱説明書

はじめに

「SH-52A」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

取扱説明書について

■ かんたんセットアップマニュアル(本体付属品)

本端末とパソコン、ゲーム機やiPhoneなどの接続方法について説明しています。

■ 取扱説明書(PDFファイル)

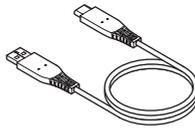
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

- 本書においては、「SH-52A」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品



本体



USBケーブル(試供品)



SIM取り出しツール(試供品)



かんたんセットアップ
マニュアル



ご利用にあたっての注意事項



無線LAN初期設定シール

- 本端末に対応するオプション品(別売)は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

目次

本端末のご利用について	2
SH-52Aの主な機能	3
安全上のご注意(必ずお守りください)	5
取り扱い上のご注意	11

ご使用前の確認

各部の名称と機能	14
ドコモnanoUIMカード	15
充電	18
電源を入れる/切る	20
画面の見かた	21
タッチパネルの使いかた	22
数字の入力	22

セットアップ

セットアップについて	23
Wi-Fiで接続/通信する	25
USBケーブルで接続/通信する	41
LANケーブルで接続/通信する	42

各種設定(Webブラウザ)

設定ツールについて	43
接続端末	46
設定	47
端末情報	56

各種設定(本体メニュー)

本端末の本体メニューについて	57
データ通信量	58
設定	59

海外利用

国際ローミング(WORLD WING)の概要	62
海外で利用可能なサービス	62
海外でご利用になる前に	62
海外で利用するための設定	63
帰国後の確認	63

付録/索引

メニュー一覧	64
トラブルシューティング(FAQ)	69
保証とアフターサービス	71
ソフトウェア更新	72
主な仕様	74
データ通信端末の電波防護への適合性について	75
Compliance Information on Human Exposure to Radio Waves of Mobile Terminals	76
CAUTION	79
Inquiries	79
輸出管理規制	80
知的財産権について	80
SIMロック解除	80
索引	81

本端末のご利用について

- 本端末は、5G・LTE・W-CDMA・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5Gサービスエリア、LTEサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波状態は[]を表示している状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に設定された内容は、定期的にメモを取ったり、パソコンなどの外部記録媒体に保管してください。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、設定された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、データ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック/パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 紛失に備え[画面ロック]のパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- サービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

SH-52Aの主な機能

本端末は、第5世代移動通信システム(5G)に対応しています(5Gの電波帯である「Sub6(6GHz未満の周波数帯)」と「ミリ波(28GHz帯などの高周波数帯)」の両方に対応)。また、本端末のLTE通信は、PREMIUM 4G[®](LTE-Advanced)に対応しています。5G方式では受信時最大4.1Gbps[※]/送信時最大480Mbps[※]の高速通信が可能となります。

本端末は、Wi-Fi機能により複数のパソコンやゲーム機などのWi-Fi対応機器と同時に接続できます。また、USBケーブル(試供品)でパソコンと接続してデータの送受信をしたり、LANケーブル(市販品)を使用して有線ルータとして使用したりできます。

※ 端末の仕様であり、2020年6月発売時点でドコモの通信回線が対応しているのは受信時最大3.4Gbps/送信時最大182Mbpsまでです。2020年9月23日以降、受信時最大4.1Gbps/送信時最大278Mbpsに対応です。

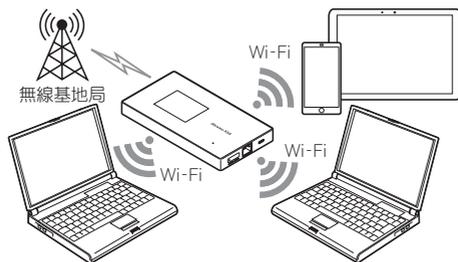
2020年冬以降、ソフトウェア更新により受信時最大4.1Gbps/送信時最大480Mbpsに対応予定です。

- 通信速度について詳しくは、「主な仕様」(P.74)をご参照ください。

■ Wi-Fi接続

本端末とWi-Fi対応機器(パソコンやゲーム機など)を接続し、データの送受信ができます。

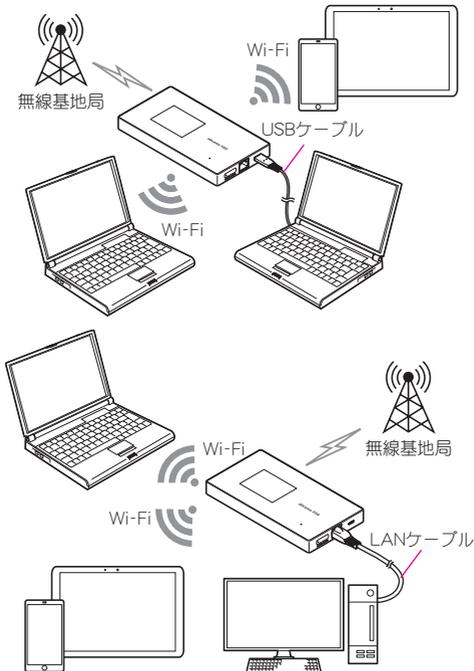
本端末はWi-Fi対応機器を同時に16台まで接続できます。



■ USBケーブル/LANケーブルで接続/通信

本端末とパソコンなどをUSBケーブル(試供品)や、LANケーブル(市販品)で接続し、データの送受信ができます。

USBケーブル/LANケーブルで接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器をWi-Fi接続することができます。



■ QRコード&WPS接続対応

本端末にQRコードを表示して、スマートフォンなどのカメラで読み取る*とかんたんにWi-Fi接続することができます。

また、WPS接続に対応しているので、WPSキーによる接続ができます。
はじめて接続するWi-Fi対応機器でも、戸惑わず、すぐ接続して使えます。

※ ご利用のAndroid™スマートフォンにインストールされているQRコードリーダーでは、Wi-Fi設定を自動で設定できない場合があります。下記からQRコードリーダーをインストールしてください。

http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh52a/peripherals/qrapl.html?utm_source=guide&utm_medium=qrsh52a&utm_campaign=product_leaf



安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^(※2) を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^(※3) の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
- ※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水滴れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れた手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本端末、アダプタ、USBケーブル、ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて (共通)

⚠危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具やパソコンなどの機器のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末を引火性のもの(ガソリン、ベンジン、シンナー、スプレー、ガスなど)や燃えやすいもの(紙、ビニールなど)、熱に弱いものの近くで使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたリ、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。

また、風呂場などの水に触れる場所では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶついたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- スボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
- 電車やバスなどの座席シートに挟み込む



禁止

本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

本端末の背面カバーを取り外そうとしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。

また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。

可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く。
 - USBケーブルを接続機器から抜く。
 - 本端末や接続機器の電源を切る。
- 上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意



禁止

破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
ドコモnanoUIMカードトレイやSIM取り出しツールなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を継続してご使用になる場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまったりするなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。

データ通信など、長時間の使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

鋭利なもの(釘など)を刺したり、硬いもの(ハンマーなど)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のドコモnanoUIMカードトレイの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片(カッターの刃やホチキスの針など)、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、ドコモnanoUIMカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切ってください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください
補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部などを破損した際には、破損部や露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などににつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

ドコモnanoUIMカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端にご注意ください。
SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端に触れると、けがなどの原因となります。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
【P.9「材質一覧」】



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。



禁止

アダプタやUSBケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときや接続機器にUSBケーブルを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプタに変圧器(海外旅行用のトラベルコンバーターなど)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態や接続機器にUSBケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、USBケーブルに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ: AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ: AC100V~240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
DCアダプタ: DC12V・24V(マイナスアース車専用)



指示

DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグや端子に付いたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

アダプタをコンセントやアクセサリソケットに差し込むときやUSBケーブルを接続機器に差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜く場合やUSBケーブルを接続機器から抜く場合は、アダプタやUSBケーブルのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタやコネクタを持って抜いてください。
アダプタやUSBケーブルのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

アダプタ、USBケーブルの取り扱いについて

警告



禁止

アダプタやUSBケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタやUSBケーブルには触れないでください。
感電などの原因となります。



禁止

コンセントやアクセサリソケット、接続機器につないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合や接続機器にUSBケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いてください。また、USBケーブルを接続機器から抜いてください。

電源プラグを差したまま放置したり、USBケーブルを接続したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いたり、USBケーブルを接続機器から抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリソケットから抜いたり、USBケーブルを接続機器から抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

注意



禁止

コンセントやアクセサリソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れたり、接続機器につないだ状態でUSBケーブルに継続して触れないでください。やけどなどの原因となります。

ドコモnanoUIMカードの取り扱いについて

注意



指示

ドコモnanoUIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質/表面処理
ディスプレイパネル	アクリル樹脂+PC樹脂/ハードコート
外装(側面)	PC樹脂+ABS樹脂/塗装、ハードコート
外装(背面)	アクリル樹脂+PC樹脂/ハードコート
電源キー	PC樹脂+ABS樹脂/塗装、ハードコート
USB Type-C™接続端子の周囲(内側側面)	ステンレス
ドコモnanoUIMカードトレイ(外装部)	PC樹脂(ガラス入り)/塗装、ハードコート
ドコモnanoUIMカードトレイ	PC樹脂(ガラス入り)
IMEIプレート	PET樹脂/印刷
IMEIラベル	PET樹脂/印刷
Ethernetポート(端子部)	リン青銅/金メッキ
Ethernetポート(金属部)	ステンレス
Ethernetポート(樹脂部)	LCP樹脂

USBケーブル

使用箇所	材質／表面処理
USB Type-Cプラグ(端子部)	コルソン銅／金メッキ
USB Type-Cプラグ(樹脂部)	LCP樹脂
USB Type-Cプラグ(金属部)	ステンレス／ニッケルメッキ
USBプラグ(端子部)	銅合金／金メッキ
USBプラグ(樹脂部)	PBT樹脂
USBプラグ(金属部)	SPCC／ニッケルメッキ
ケーブル	TPE

SIM取り出しツール

使用箇所	材質／表面処理
本体	ステンレス

試供品(USBケーブル、SIM取り出しツール)の取り扱いについて

■ USBケーブル



警告



禁止

ペットなどが噛みつかないようにご注意ください。
発熱により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

■ SIM取り出しツール



警告



禁止

SIM取り出しツールの先端部は尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
けがや失明などの原因となります。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **水などの液体(飲料水、汗、海水、ベットの尿など)をかけないでください。**
本端末、アダプタ、ドコモnanoUIMカード、USBケーブルは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。**
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子などは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れてたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
- **オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。
- **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**
- **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

本端末についてのお願い

- **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **家庭用電子機器(テレビ・ラジオなど)をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に設定された内容は、パソコンなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
万が一設定された内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **通常はドコモnanoUIMカードトレイを閉じた状態でご使用ください。**
水などの液体(飲料水、汗、海水、ベットの尿など)や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- **内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。**
内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
- **充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。**
- **内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。**
- **本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。**
 - ・ フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
 - ・ 電池残量なしの状態(本端末の電源が入らない程消費している状態)での保管なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- **本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。**

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するがご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)の3種類の帯域を利用することができます。

- W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
- W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)
- W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch)

ご利用のWi-Fi対応機器に5GHz帯に対応していないものがある場合は、本端末の設定を2.4GHz帯にしてご使用ください。

また、USBケーブルを利用してUSB接続やLANケーブルを利用して有線LAN接続で通信していただくことも可能です。

5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)の屋外利用は法律で禁止されています。

Wi-Fi 5GHz帯のW53/W56利用時は気象レーダーなどとの電波干渉を避けるためにチャネルを自動的に変更する場合があります。その場合通信が一時的に切断されます(DFS機能)。

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。

電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。

ホーム画面を左にスワイプ▶[端末情報]

試供品(USBケーブル、SIM取り出しツール)についてのごお願い

■ USBケーブル

- 充電は、適正な周囲温度(5℃~35℃)の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・家庭用電子機器(テレビ、ラジオなど)の近く
- 充電中にUSBケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

■ SIM取り出しツール

- SIM取り出しツールを、ドコモnanoUIMカードトレイ取り出し用の穴、RESETボタンの穴以外の穴などに挿入しないでください。
故障、破損の原因となります。
- 無理な力がかからないように使用してください。
故障、破損の原因となります。
- 廃棄の際は、それぞれの地域ルールにしたがって分別廃棄を行ってください。
- SIM取り出しツールは本書に記載の使用目的以外では使用しないでください。
故障、破損の原因となります。
- SIM取り出しツールは他の携帯端末には使用しないでください。
携帯端末の故障、破損の原因となります。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「**技術適合マーク**」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面を左にスワイプ▶[端末情報]

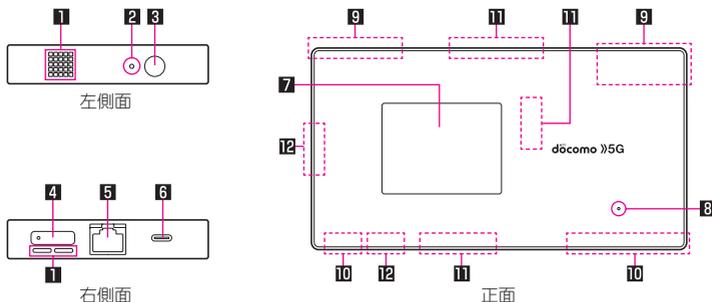
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、操作をすることは、罰則の対象となります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認

各部の名称と機能

■ 本体



1 排熱口

- ふさがないように注意してください。

2 RESETボタン

- 本端末の設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
- 設定ツールの操作でもお買い上げ時の状態に戻すことができます(☞P.55「オールリセット」)。

3 ○:電源キー

- 電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使用します(☞P.20「電源を入れる／切る」)。

4 ドコモnanoUIMカードトレイ

- ドコモnanoUIMカードについては☞P.15「ドコモnanoUIMカード」

5 Ethernetポート

- LANケーブル(市販品)の接続時に使用します(☞P.42「LANケーブルで接続／通信する」)。

6 USB Type-C接続端子

- 充電時などに使用します。
- 外部機器との接続については☞P.18「充電」、P.41「USBケーブルで接続／通信する」

7 ディスプレイ／タッチパネル

- タッチパネルの操作については☞P.22「タッチパネルの使いかた」

8 充電ランプ

- 充電ランプについては☞P.18「充電ランプについて」

9 5G/LTE/FOMAアンテナ※

10 5G/LTEアンテナ※

11 5Gアンテナ※

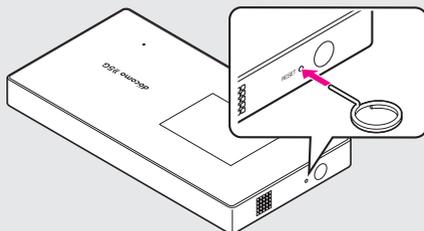
12 Wi-Fiアンテナ※

※本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響をおよぼす場合があります。

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

RESETボタンについて

- RESETボタンを押すときはSIM取り出しツール(試供品)を利用します。
- 本端末の設定内容をお買い上げ時の状態に戻すときは、本端末の電源が入っている状態で、SIM取り出しツールの先端をRESETボタンの穴に差し込む▶RESETボタンを2秒以上押す▶[OK]と操作します。本端末が自動的に再起動し、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。



IMEIプレートについて

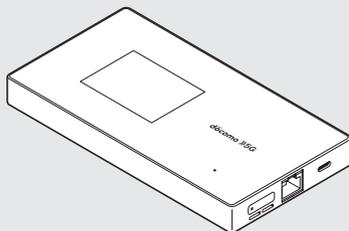
- ドコモnanoUIMカードトレイの挿入口付近には、IMEI情報（端末識別番号）、CEマークなどを印刷したシールが貼られたプレートが収納されています。修理依頼やアフターサービスなどで、IMEI番号が必要となりますので、プレートを引き出ししたり、シールをはがしたりしないでください。
IMEIプレート（銘板プレート）の取り扱いに関する注意事項については、「アフターサービスについて」(P.72)をご参照ください。
- IMEIプレートを無理に引き出ししたり、力を加えたりすると、破損する恐れがありますのでご注意ください。
- IMEIプレートを引き出してしまった場合は、IMEIプレートが奥に入り込みすぎないように、ゆっくりと差し込んでください。

本端末の強制終了について

- ○（電源キー）を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。強制的に電源を切るため、設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

本端末の置きかたについて

- 本端末を置いて利用する場合は、ディスプレイ面を上向きにしてください。5Gアンテナでの電波状態が良くなります。



■ USBケーブル(試供品)

本端末とパソコンを接続する場合やDCアダプタ 05(別売)で充電する場合に使用します。

■ SIM取り出しツール(試供品)

ドコモnanoUIMカードの取り付け/取り外しを行うときやRESETボタンを押すときに使用します。

ドコモnanoUIMカード

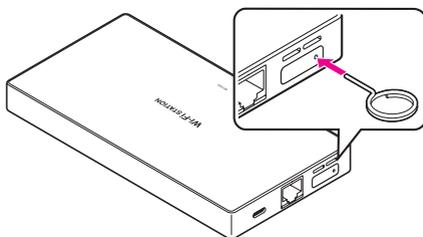
ドコモnanoUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。本端末に取り付けることで、データ通信を利用できます。

- ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります(P.17「暗証番号について」)。
- 本端末では、ドコモnanoUIMカードのみご利用になれます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 取り外し/取り付けは、必ず電源を切ってから行ってください。本端末は手でしっかり持ってください。
- 取り外し/取り付けは、ディスプレイ面を下向きにして行ってください。
- 取り外しには、付属のSIM取り出しツール(試供品)が必要です。

■ 取り付けかた

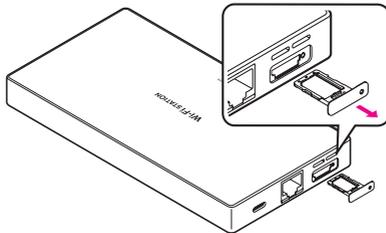
1 SIM取り出しツールの先端をドコモnanoUIMカードトレイ取り出し用の穴に差し込む

- カードトレイが出てくるまで、しっかりと水平に差し込んでください。水平に差し込まないと破損や故障の原因となります。



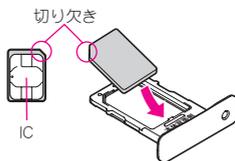
2 ドコモnanoUIMカードトレイを本体から引き出す

- カードトレイをゆっくりと水平に引き出してください。
- カードトレイを強く引き出ししたり、斜めに引き出ししたりすると、破損の原因となります。
- 引き出すときに、カードがカードトレイから外れて、紛失したりしないように注意してください。



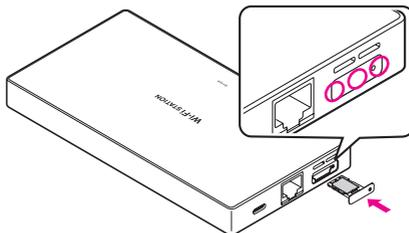
3 ドコモnanoUIMカードのIC面を下向きにして、ドコモnanoUIMカードトレイに取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- ドコモnanoUIMカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



4 ディスプレイ面を下向きにして、ドコモnanoUIMカードトレイを本体に対してまっすぐ水平に、奥までしっかり差し込む

- ○部分をしっかりと押し、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。
- カードトレイをゆっくりと差し込んでください。
- カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損する恐れがあります。
- カードトレイの差し込みが不十分な場合は、正常に動作しないことがあります。



- SIM取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。



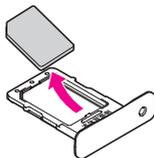
ペーパークリップの例

■ 取り外しかた

- ドコモnanoUIMカードトレイの取り外し/取り付け方法について詳しくは、「取り付けかた」(P.15)をご参照ください。

1 ドコモnanoUIMカードトレイを取り外す

2 ドコモnanoUIMカードをドコモnanoUIMカードトレイから取り外す



3 ディスプレイ面を下向きにして、ドコモnanoUIMカードトレイを本体に取り付ける

- ドコモnanoUIMカードは、直接本体に差し込まないでください。カードをカードトレイに取り付けたあとで、カードトレイごと本体に差し込んでください。
- ドコモnanoUIMカードやドコモnanoUIMカードトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- ディスプレイ面を上向きにしたり、本体を立てた状態でドコモnanoUIMカードトレイを引き出すと、取り付けられているドコモnanoUIMカードが外れ、紛失する可能性があります。
- ドコモnanoUIMカードを取り扱うときは、I Cに触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとドコモnanoUIMカードが破損したり、ドコモnanoUIMカードトレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- ドコモnanoUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモnanoUIMカードの取扱説明書または、ドコモのホームページを参照してください。
- 取り外したドコモnanoUIMカードは、なくさないようにご注意ください。

暗証番号について

ドコモnanoUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は[0000]に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます(P.48「PIN管理」)。PINコードは、第三者によるドコモnanoUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモnanoUIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4~8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたドコモnanoUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は[0000]となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)や本端末、ドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書(お客様控え)に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類(運転免許証など)とドコモnanoUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

■ PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとドコモnanoUIMカードが完全にロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。

<https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html>

■ 充電時のご注意

- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安についてはP.74「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できません（充電中は電池マークに[]が重なって表示されます）。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると内蔵電池の充電量が減少します。
このような場合、ACアダプタ（別売）やDCアダプタ（別売）は再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタから端末を取り外す時期により、内蔵電池の充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから（電池残量が減ってからなど）充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

■ 内蔵電池の寿命

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。



Li-ion00

■ 充電ランプについて

充電中などに充電ランプを点灯／点滅してお知らせします。充電中にフル充電状態になると、充電ランプは消灯します。

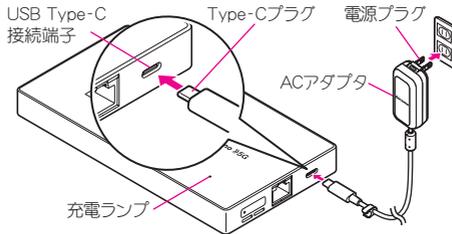
表示状態	色	端末の状態
点灯	赤色	充電中
点滅	赤色	充電ができない状態

ACアダプタで充電

ACアダプタ 07 (別売) を使って充電する場合は、次の操作を行います。

- 1 ACアダプタのType-Cプラグを、本端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
- 2 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が開始します。
- フル充電状態になると、充電ランプは消灯します。



- 3 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、Type-CプラグをUSB Type-C接続端子から水平に抜く

- 詳しくはACアダプタ 07の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 07は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。
AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 無理に差し込んだり抜いたりすると、USB Type-C接続端子やType-Cプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

DCアダプタで充電

DCアダプタ 05 (別売) は、自動車のアクセサリソケット (12V/24V) から充電するための電源を供給するアダプタです。

DCアダプタ 05を使用する場合は、USBケーブル(試供品)を利用します。詳細については、DCアダプタ 05の取扱説明書をご覧ください。

- DCアダプタはマイナスアース車専用です(DC12V・24V両用)。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタのヒューズは消耗品ですので、交換の際はお近くのカー用品店などでお買い求めください。

パソコンに接続して充電

本端末とパソコンをUSBケーブル(試供品)などで接続すると、本端末を充電することができます。

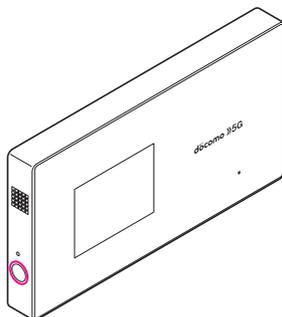
- パソコンなどとの接続方法については「P.41「USBケーブルで接続/通信する」

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- はじめて本端末の電源を入れたときは初期設定を行ってください(※P.20「初期設定」)。



■ 電源を切る／再起動する

1 ○(電源キー)(2秒以上)

2 [電源をオフ]／[再起動]

■ ディスプレイの表示／非表示

○(電源キー)を押したときや本端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。ディスプレイが消えているときに○(電源キー)を押すと、ディスプレイが表示されます。

■ タッチパネルのロックを解除する

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチパネルがロックされています。

[>>]を右にスライドすると、ロックが解除されます。



- タッチパネルのロック画面は、5G方式の電波を受信しているときのみ、背景が青く光ります。

初期設定

はじめて本端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されます。

- 初期設定では、ソフトウェア更新を自動的に行うかどうかを設定します。

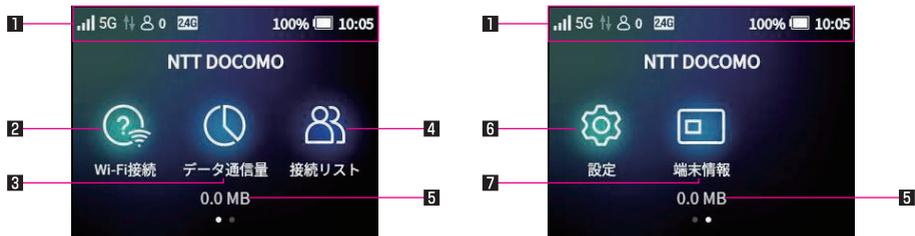
1 初期設定(ようこそ)画面が表示されたら[スタート]

2 [自動更新]の[>]／[>]を選択▶[同意して次へ]

- タッチパネルのロック画面が表示されます。

画面の見かた

■ ホーム画面



■ ステータスアイコン表示エリア

- ~ : 電波状態レベル表示(5段階)
 - データ受信中は 、データ送信中は が白く表示されます。
 - 5G/4G(LTE)/3G使用可能時は、電波マークの右側に [5G]/[4G+]/[3G]が表示されます。また、圏外の場合は、電波マークの右側に [圏外]が表示されます。
 - LTE接続時は常に [5G] または [4G+] が表示されます。
 - 国際ローミング中は、電波マークの左上に [R] が小さく表示されます。
- 0: 接続中機器の台数表示
- : [Wi-Fiモード]表示
- : DFSチェック表示 (※P.13「5GHz機器使用上の注意事項」)
 - 気象レーダーなどとの電波干渉を確認中に表示されます。
- : USB接続表示
- : Ethernetポート 接続表示
- / : ソフトウェア更新情報あり表示/ソフトウェア更新中表示 (※P.72「ソフトウェア更新」)
- ~ : 電池残量表示
 - 電池残量マークの左側にパーセント表示します。
 - 充電中は電池マークに が重なって表示されます。
 - 充電中にエラーが発生した場合は「！」が重なって表示されます。

■ Wi-Fi接続 (※P.25「Wi-Fiで接続/通信する」)

- 画面の指示に従って操作すると、本端末とWi-Fi対応機器を接続できます。

■ データ通信量 (※P.58「データ通信量」)

- データ通信量について設定します。

■ 接続リスト

- 本端末に接続中の機器を確認できます。

■ データ通信量表示 (※P.58「データ通信量」)

- 利用したデータ通信量が表示されます。

■ 設定 (※P.59「設定」)

- 本端末の各機能を設定できます。

■ 端末情報

- 本端末に関する情報を確認できます。

- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量はMy docomoで確認することができます。
- 使用環境や接続するWi-Fi対応機器によっては、接続やデータ通信が可能になるまでに時間がかかることがあります。

タッチパネルの使いかた

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先が尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った状態での操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ スライド(スワイプ)

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールできます。



数字の入力

入力先によって、数字キーボードが表示されます。



1 入力欄

- パスワードなどを入力した場合は「*」が表示されることがあります。

2 キーボード

- 数字入力するキーボードです。

3 削除キー

- 入力した数字を消します。

セットアップ

セットアップについて

本端末と通信を行う機器との接続は、Wi-Fi機能を使う方法、USBケーブル(試供品)を使う方法、およびLANケーブル(市販品)を使う方法があります。接続方法ごとの説明をご覧ください、セットアップを進めてください。

いったん設定したあとは、本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能をONにするだけで、自動的に接続されます。

Wi-Fi接続でデータの送受信を行う場合

本端末はWi-Fi対応機器を同時に16台まで接続できます。

ネットワークやセキュリティの設定などを変更する場合は、設定ツールをご利用ください(☞P.43「設定ツールについて」)。

USBケーブルやLANケーブルで接続してデータの送受信を行う場合

USBケーブル(試供品)やLANケーブル(市販品)で接続して使用中でも、Wi-Fi対応機器と合わせて同時に18台(Wi-Fi:16台/USB:1台/有線LAN:1台)まで接続できます。

セットアップに必要な情報について

- 本端末にWi-Fi対応機器を接続するとき、以下の情報が必要になります。付属の『無線LAN初期設定シール』に、本端末の初期設定値が記載されていますので、必要に応じてご確認ください。
また、次の操作で本端末のディスプレイに情報を表示することができます。
ホーム画面で[Wi-Fi接続] ▶ [手動接続]
 - SSID
ネットワーク上での本端末の名前です。
SSID A: SH-52Aa-XXXXXX
SSID B: SH-52Ab-XXXXXX
 - XXXXXはMACアドレス下6文字
 - パスワード
Wi-Fi対応機器によっては、「Wi-Fiパスワード」、「セキュリティキー」のように表記されていますが同じことを意味します。
- セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているSSID、およびパスワードを変更してお使いになるようおすすめします。

- セットアップ(本端末と接続)後は、設定ツールを使ってご利用のネットワークを設定してください(☞P.47「設定」)。
spモードに接続してお使いになる場合は、この設定は不要です。

対応機器を確認する

本端末が対応する機器について説明します。対応機器の最新情報については、ドコモのホームページをご確認ください。

- パソコンは最新状態にして、お使いください。
- USB HUB(モニターやキーボードなどにあるUSBポート含む)を経由しての動作は保証いたしかねます。
- お客様の環境・機器によっては、ご使用になれない場合があります。また対応の動作環境以外でのご使用によるお問い合わせ、および、動作保証は、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ Wi-Fi接続できる機器について

無線LAN規格IEEE802.11a/n/ac/ax(5GHz帯)、IEEE802.11b/g/n/ax(2.4GHz帯)に対応しているWi-Fi対応機器と接続できます。

- Wi-Fi対応機器の動作や操作方法などについては、提供元メーカーにお問い合わせください。

■ USB接続できる機器について

対応しているOSは以下のとおりとなります。

- Windows 10(32ビット/64ビット)
- Windows 8.1※(32ビット/64ビット)
- macOS Catalina 10.15.2(64ビット)
- macOS Mojave 10.14.6(64ビット)
- macOS High Sierra 10.13.6(64ビット)

※ Windows RTは非対応となります。

- USB2.0以上に対応している機器をUSB接続できます。
- USB接続中に本端末は充電されます。

■ 本端末の設定を変更できる機器について

対応しているOS※¹は以下のとおりとなります。

- Windows 10(32ビット/64ビット)
- Windows 8.1※²(32ビット/64ビット)
- macOS Catalina 10.15.2(64ビット)
- macOS Mojave 10.14.6(64ビット)
- macOS High Sierra 10.13.6(64ビット)

- Android
- iOS

※¹ 対応OSは日本語版となります。OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証していません。

※² Windows RTは非対応となります。

Wi-Fiで接続／通信する

本端末は、Wi-Fi機能により同時に複数のパソコンやゲーム機などのWi-Fi対応機器と接続し、データの送受信ができます。

- 使用環境や接続するWi-Fi対応機器によっては、接続やデータ通信が可能になるまでに時間がかかることがあります。

一般的なWi-Fi対応機器を接続する

ここでは、各種ゲーム機や携帯端末などの一般的なWi-Fi対応機器を例にして説明します。

WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能のプッシュボタン方式に対応しているWi-Fi対応機器であれば、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。お使いのWi-Fi対応機器がWPS機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

- WPS機能を利用するには、本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)]、[WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)]に設定する必要があります。

本端末

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

Wi-Fi対応機器

2 接続設定画面を表示し、必要に応じてWPS接続の準備操作を行う

- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

本端末

3 ホーム画面で[Wi-Fi接続] ▶ [WPS]



4 [無線LAN端末と接続]



Wi-Fi対応機器

5 WPSボタンを押す

- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- セットアップの完了まで約2分かかります。
- 本端末に[WPS接続が完了しました]と表示されたら設定完了です。

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

お使いのWi-Fi対応機器がWPS機能に対応していない場合や、WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

——— 本端末 ———

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると「」が表示されます。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]



3 [手動接続]

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]に接続する場合は、[有効]をONに設定してください。



——— Wi-Fi対応機器 ———

4 接続設定画面を表示し、アクセスポイントを検索する

- Wi-Fi対応機器でWi-Fi機能をONにしたり、「アクセスポイントに接続」や「検索する」などのメニューを選択したりすると、近くにあるアクセスポイントが一覧表示されます。
- Wi-Fi対応機器によって操作方法が異なります。お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。

5 アクセスポイントの一覧から、本端末のSSIDが表示されている項目を選択する

6 パスワードを入力し、設定を保存する

- Wi-Fi対応機器によっては、セキュリティ(暗号化方式)の選択画面が表示されることがあります。本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]に合わせて選択してください(☞P.51「Wi-Fi設定」)。

Windowsを接続する

ここでは、Windows 10とWindows 8.1の場合を例にして説明します。
詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。

■ Windows 10

マウスで操作した場合を例にして説明します。タッチパネルなどで操作する場合は、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。

WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能を利用して、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- WPS機能を利用するには、本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)]、[WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)]に設定する必要があります。

————— 本端末 —————

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると[]が表示されます。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]▶[WPS]



3 [無線LAN端末と接続]

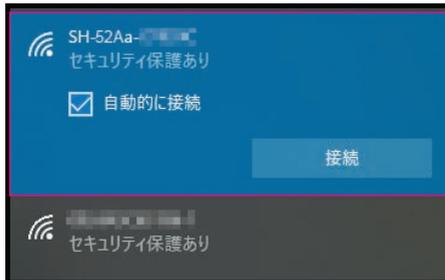


————— パソコン —————

4 Wi-Fi機能をONにする

5 タスクトレイの をクリック

6 本端末のSSIDを選択し、[自動的に接続]にチェックマークを付けて[接続]をクリック



- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。
- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本端末に [WPS接続が完了しました] と表示されたら設定完了です。

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

————— 本端末 —————

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると[Wi-Fi接続]が表示されます。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]



3 [手動接続]

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]に接続する場合は、[有効]をONに設定してください。

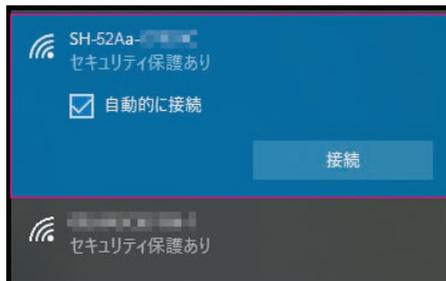


————— パソコン —————

4 Wi-Fi機能をONにする

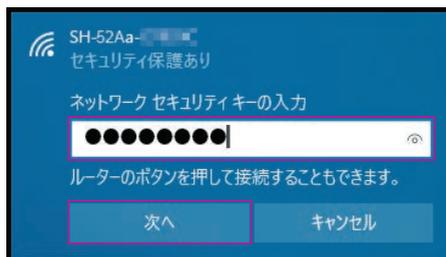
5 タスクトレイの[Wi-Fi]をクリック

6 本端末のSSIDを選択し、[自動的に接続]にチェックマークを付けて[接続]をクリック



7 パスワードを入力し、[次へ]をクリック

- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。



■ Windows 8.1

マウスで操作した場合を例にして説明します。タッチパネルなどで操作する場合は、お使いのパソコンの取扱説明書などをご覧ください。

■ WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能を利用して、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定します。

- WPS機能を利用するには、本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)]、[WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)]に設定する必要があります。

————— 本端末 —————

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると[]が表示されます。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続] ▶ [WPS]

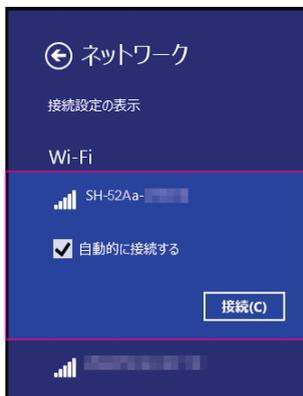


3 [無線LAN端末と接続]



———— パソコン ————

- 4 Wi-Fi機能をONにする
- 5 デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、下向きに移動すると表示されるメニュー(チャーム)で  (設定) をクリック
- 6  (利用可能) をクリック
- 7 本端末のSSIDを選択し、[自動的に接続する]にチェックマークを付けて[接続]をクリック



- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。
- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本端末に[WPS接続が完了しました]と表示されたら設定完了です。

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

WPS接続ができない場合などに手動で接続します。

本端末

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]



3 [手動接続]

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]に接続する場合は、[有効]をONに設定してください。



パソコン

4 Wi-Fi機能をONにする

5 デスクトップ画面右上をマウスでポイントし、下向きに移動すると表示されるメニュー(チャーム)で (設定)をクリック

6 (利用可能)をクリック

7 本端末のSSIDを選択し、[自動的に接続する]にチェックマークを付けて[接続]をクリック



8 パスワードを入力し、[次へ]をクリック

- パソコンの共有についてのメッセージが表示される場合があります。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。



Macを接続する

ここでは、macOS Catalina 10.15の場合を例にして説明します。お使いのバージョンによって画面が異なる場合があります。

————— 本端末 —————

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると「」が表示されます。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]



3 [手動接続]

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]に接続する場合は、[有効]をONに設定してください。



- 4 アップルメニューから[システム環境設定...]をクリックし、[ネットワーク]をクリック
- 5 [Wi-Fi]をクリックし、[Wi-Fiをオンにする]をクリックしてWi-Fi機能をONにする

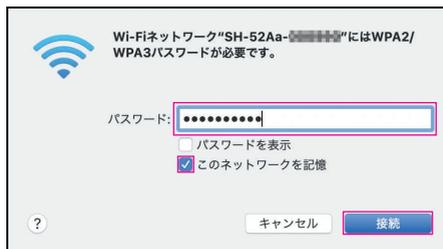


- [新しいネットワークに接続する前に確認]にチェックが入っていると、Wi-FiをONにしたとき、[使ったことのあるネットワークが見つかりません。]というメッセージが表示されることがあります。その場合は、[キャンセル]をクリックして[ネットワーク]の画面に戻ってください。

6 [ネットワーク名]のプルダウンリストから本端末のSSIDを選択する



7 パスワードを[パスワード]欄に入力し、[このネットワークを記憶]にチェックマークを付け、[接続]をクリック



Android搭載端末を接続する

お使いのAndroid搭載端末、Androidのバージョンによって操作および画面が異なります。
詳しくは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

WPS機能を利用して接続する場合(自動接続)

WPS機能のプッシュボタン方式に対応しているAndroid搭載端末であれば、接続するために必要なSSIDやセキュリティ方式などを、簡単な操作で設定できます。お使いのAndroid搭載端末がWPS機能のプッシュボタン方式に対応しているかどうかは、お使いのAndroid搭載端末の取扱説明書をご覧ください。

ここでは、Android 8.1の場合を例に説明しています。

- WPS機能を利用するには、本端末の[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)]、[WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)]に設定する必要があります。

————— 本端末 —————

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると[]が表示されます。

————— Android —————

2 アプリケーション一覧画面で[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

3 [Wi-Fi]をONにする

4 [Wi-Fi 設定]▶[詳細設定]▶[WPSプッシュボタン]

————— 本端末 —————

5 ホーム画面で[Wi-Fi接続]▶[WPS]



6 [無線LAN端末と接続]



- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- 本端末に[WPS接続が完了しました]と表示されたら設定完了です。

- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。

アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

お使いのAndroid搭載端末がWPS機能に対応していない場合や、WPS接続ができない場合などに手動で接続します。ここでは、Android 10の場合を例に説明しています。

本端末

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると[]が表示されます。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]



3 [手動接続]

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]に接続する場合は、[有効]をONに設定してください。



Android

4 アプリケーション一覧画面で[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

5 [Wi-Fiの使用]をONにする

6 一覧画面から本端末のSSIDをタッチ



7 パスワードを正しく入力▶[接続]



本端末のQRコード表示機能を使って接続する場合

本端末に表示したQRコードをカメラを利用して読み込むことで自動的に本端末と接続できます。ここでは、Android 10の場合を例に説明しています。

- Android 9 Pie以前のAndroid搭載端末の場合、インストールされているQRコードリーダーでは、Wi-Fi設定を自動で設定できない場合があります。下記からQRコードリーダーをインストールしてインストールしたQRコードリーダーで本端末に表示したQRコードを読み取ると、Wi-Fi設定を自動で行うことができます。

http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh52a/peripherals/qrapl.html?utm_source=guide&utm_medium=qrsh52a&utm_campaign=product_leaf



- Android 9 Pie以前のAndroid搭載端末の場合、上記のおすすめのアプリでQRコードを読み取っても自動で本端末と接続できないときは、WPS機能を利用する、またはアクセスポイントを検索して接続してください。

————— 本端末 —————

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]▶[QRコードで接続]



- 本端末にQRコードが表示されます。

————— Android —————

3 アプリケーション一覧画面で[設定]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

4 [Wi-Fiの使用]をONにする

5 []



- 6 カメラで、本端末に表示されているQRコードを読み取る ▶ 画面に従って操作する
- 本端末と接続されます。

iPhone/iPod touch/iPadを接続する

アクセスポイントを検索して接続する場合(手動接続)

ここでは、iPhone(iOS 13.4)を使用した場合を例にして説明します。

————— 本端末 —————

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると [] が表示されます。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]



3 [手動接続]

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]に接続する場合は、[有効]をONに設定してください。



————— iPhone —————

4 ホーム画面で[設定] ▶ [Wi-Fi]

5 [Wi-Fi]をONにする



6 一覧画面から本端末のSSIDをタッチ



7 パスワードを正しく入力▶【接続】



本端末のQRコード表示機能を使って接続する場合

本端末に表示したQRコードをカメラを利用して読み込むことで自動的に本端末と接続できます。ここでは、iPhone(iOS 13.4)を使用した場合を例にして説明します。

————— 本端末 —————

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると【】が表示されます。

2 ホーム画面で【Wi-Fi接続】▶【QRコードで接続】



- 本端末にQRコードが表示されます。

————— iPhone —————

3 カメラ機能を利用してQRコードを読み取る▶画面に従って操作する

- 本端末と接続されます。

Nintendo Switchを接続する

本端末

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると[]が表示されます。

2 ホーム画面で[Wi-Fi接続]



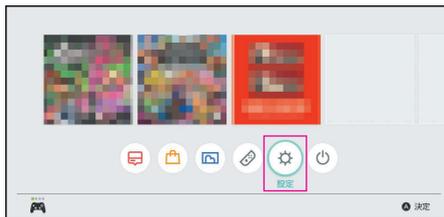
3 [手動接続]

- 本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)が表示されます。
- [SSID B]に接続する場合は、[有効]をONに設定してください。



Nintendo Switch

4 HOMEメニューで[設定]



5 [インターネット]▶[インターネット設定]



6 一覧画面から本端末のSSIDをタッチ



7 パスワードを正しく入力▶[OK]



- 設定が保存されます。接続が成功したメッセージが表示されたら設定完了です。

USBケーブルで接続／通信する

本端末は、USBケーブル(試供品)で直接パソコンに接続し、データの送受信ができます。

■ パソコンに本端末を取り付ける

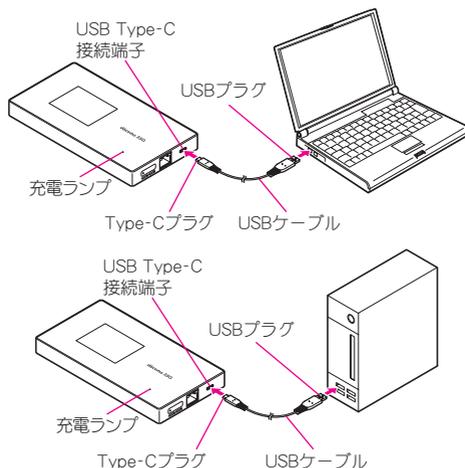
1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功すると「」が表示されます。

2 ドコモnanoUIMカードを取り付けた本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブルのType-Cプラグを水平に差し込む

3 USBケーブルのUSBプラグを、パソコンのUSB端子に接続する

- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。
- フル充電状態になると、充電ランプは消灯します。
- パソコンに接続すると、USB接続機能が起動し、自動的にインターネットに接続されます。パケット通信(課金対象)が発生しますのでご注意ください。



■ パソコンから本端末を取り外す

データの送受信が終了していることを確認し、本端末を取り外してください。

1 USBケーブルを本端末とパソコンから水平に抜く

- データ通信中にUSBケーブルをパソコンから取り外すと、データ通信が切断され誤動作やデータ消失の原因となります。ご注意ください。
- 本端末をパソコンに取り付けた状態でスタンバイ(サスペンド/レジューム/スリープ)、または休止(ハイバネーション)を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本端末を取り外してスタンバイ、休止を行ってください。
- 本端末を取り付けた状態で再起動したり、電源を入れたりすると、正常に動作しない場合があります。パソコンを起動する前に本端末を取り外してください。

LANケーブルで接続／通信する

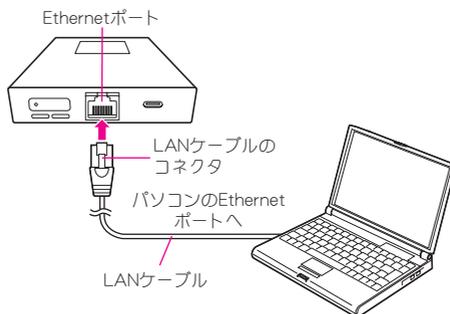
本端末を有線ルータ(2.5GBASE-T対応)として使用できます。ご利用のパソコンなどEthernetポート搭載機器をLANケーブル(市販品)で本端末と接続し、有線LAN接続でインターネットに接続できます。

- 本端末の性能を最大限発揮させるため、エンハンストカテゴリ5(CAT5e)以上のLANケーブルを使用してください。CAT5以下のLANケーブルを使用すると、通信速度が遅くなる場合があります。
- LANケーブルでの接続中も、Wi-Fi対応機器を同時に接続できます。
- LANケーブルはコネクタの向きをよく確かめ、水平に差し込んでください。

1 ○(電源キー)(2秒以上)

- 本端末の電源が入ります。Wi-Fi機能がONになり、お買い上げ時の設定では、自動的にインターネットに接続されます。成功するとが表示されます。

2 LANケーブルのコネクタを、それぞれ本端末のEthernetポートとパソコンのEthernetポートに差し込む



- 本端末はLAN側への接続のみに対応しております。WAN側へ利用することはできません。
- 本端末は、LANケーブルで接続された機器がなく、画面が消灯した状態で5分経過すると、有線LAN機能を停止します。有線LAN機能停止後に再度接続する場合は、○(電源キー)を押し、画面を点灯させてください。

各種設定 (Webブラウザ)

設定ツールについて

本端末と接続したパソコンおよび携帯端末から、Webブラウザを利用して本端末の各種機能を設定できます。ここではWi-Fi接続した場合を例にしています。お使いのOSやWebブラウザによって画面が異なる場合があります。

- 本端末との接続方法についてはP.23「セットアップ」
- Wi-Fiで接続したパソコンおよび携帯端末から、設定ツールで[MACアドレスフィルタリング]や[Wi-Fi設定]の設定内容を変更すると、Wi-Fiの接続が切れることがあります。再接続するにはパソコンおよび携帯端末の設定変更が必要になる場合がありますのでご注意ください。また、USBケーブル(試供品)を利用してUSB接続やLANケーブル(市販品)を利用して有線LAN接続し、設定ツールで変更することもできます。
- 設定ツールを同時に複数のパソコンおよび携帯端末で表示/設定できません。
- 本端末でも一部の機能を設定できます(P.57「各種設定(本体メニュー)」)。
- 本端末のディスプレイが非表示(消灯)の場合、またはタッチパネルのロック画面表示中の場合に設定ツールを利用できません。
 - 設定ツールで設定中に本端末にタッチパネルのロック画面以外の画面を表示すると、設定が中断され、ログアウトする場合があります。
 - 本端末のディスプレイを非表示後、すぐに設定ツールにログインできない場合があります。しばらく待ってからログインしてください。
- [SSID B]にWi-Fi接続しているパソコンや携帯端末から、設定ツールを表示する場合は[SSID BユーザーのWeb設定ツールへのアクセス]を[許可]に設定してください(P.51「基本設定」)。

対応するWebブラウザ

本端末は以下のWebブラウザに対応しています。

Windowsの場合

- Windows 8.1/32ビット・64ビット:Microsoft Internet Explorer 11以上※
- Windows 10/32ビット・64ビット:Microsoft Edge 44以上、Microsoft Internet Explorer 11以上※
- Google Chrome™ 78以上

※対応するMicrosoft Internet ExplorerやMicrosoft Edgeのバージョンでも、ドキュメントモードが古いモードの場合は、表示が崩れることなどがあります。ドキュメントモードが最新となっているかをご確認ください。ドキュメントモードの詳細については、マイクロソフト社にお問い合わせください。

Macの場合

- Safari 11.0以上
- Google Chrome 78以上

Android搭載端末の場合

- Google Chrome 78以上

iPhone/iPod touch/iPadの場合

- Safari 11.0以上

設定ツールを表示する

■ Windows/Macの場合

1 パソコンを起動し、本端末と接続

2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://(本端末のホストIPアドレス)」または「http://web.setting」と入力

- 本端末のお買い上げ時の[ホストIPアドレス]は、「192.168.128.1」に設定されています (P.48「DHCPサーバー」)。
- 設定ツール画面の[ホーム]が表示されます。

3 [ログイン]をクリック▶パスワードを入力▶[ログイン]をクリック

- 大文字と小文字は正確に入力してください。
- お買い上げ時のパスワードはIME情報(端末識別番号)の下6桁に設定されています。
- パスワードをIME情報(端末識別番号)の下6桁でご利用いただくと、ログイン前に、パスワードの変更が必要となります。画面に従って必ず変更いただき、他人に知られないように十分ご注意ください。
パスワードを登録する場合、次の条件があります。
 - 8~32文字の半角英数字/記号(「:;&%'+?<?>¥」を除く)
 - 英大文字、英小文字、数字、記号の4種の文字をそれぞれ1文字以上含める

終了するには

設定ツール画面で、[ログアウト]▶[はい]を順にクリック

■ Android搭載端末/iPhone/iPod touch/iPadの場合

1 Android搭載端末/iPhone/iPod touch/iPadと本端末を接続

2 Webブラウザを起動し、アドレス入力欄に「http://(本端末のホストIPアドレス)」または「http://web.setting」と入力

- 本端末のお買い上げ時の[ホストIPアドレス]は、「192.168.128.1」に設定されています (P.48「DHCPサーバー」)。
- 設定ツール画面の[ホーム]が表示されます。

3 [ログイン]▶パスワードを入力▶[ログイン]

- 大文字と小文字は正確に入力してください。
- お買い上げ時のパスワードはIME情報(端末識別番号)の下6桁に設定されています。
- パスワードをIME情報(端末識別番号)の下6桁でご利用いただくと、ログイン前に、パスワードの変更が必要となります。画面に従って必ず変更いただき、他人に知られないように十分ご注意ください。
パスワードを登録する場合、次の条件があります。
 - 8~32文字の半角英数字/記号(「:;&%'+?<?>¥」を除く)
 - 英大文字、英小文字、数字、記号の4種の文字をそれぞれ1文字以上含める

終了するには

設定ツール画面で、[ログアウト]▶[はい]と操作します。

- 登録/変更/追加/保存した場合、適用された旨のメッセージやWi-Fi接続が切断されるなどの確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は、内容を確認し、[OK]を選択してください。
- 約10分間操作がない場合は自動的にログアウトします。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。

設定ツール画面の見かた

設定ツールのホーム画面には、各機能の設定／情報画面やアイコンメニューが表示されます。
ここでは、パソコンでの操作を例としています。



1 設定メニュー

2 接続状態

- 接続ネットワークや接続時間、各種アドレスなどを表示します。

3 Wi-Fi設定

- 各SSIDに接続している機器の台数などを表示します。

4 ステータスアイコン表示エリア

- ~ : レベル表示(5段階)
 - 5G/4G(LTE)/3G使用可能時は、電波状態表示の左側に [5G]/[4G+]/[3G]が表示されます。
 - LTE接続時は常に [5G]/[4G+]が表示されます。
 - 国際ローミング中は、電波マークの左上に [R]が小さく表示されます。
- : USB接続表示
- : Ethernetポート 接続表示
- ~ : 電池レベル状態
 - 充電中は []が表示されます。

5 Language

- 表示言語を切り替えます。

6 ログアウト

7 データ通信量

- 利用したデータ通信量が表示されます。データ通信量の上限やリセットまでの期間、最終リセット日も確認できます。
- [リセット]をクリックすると、データ通信量をリセットします。

- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量はMy docomoで確認することができます。

接続端末

本端末に接続している機器の確認やMACアドレスフィルタリング(接続を許可するWi-Fi対応機器をMACアドレスによって制限する機能)について設定します。

- MACアドレスフィルタリングを利用する場合は、必ず接続を許可するWi-Fi対応機器のMACアドレスを追加して、[有効]に設定してください。設定ツール画面を表示しているWi-Fi対応機器が許可対象になっていない場合は、接続が拒否され、設定を変更できなくなります。

接続リスト

1 設定ツール画面で[接続端末]▶[接続リスト]を順にクリック

- 現在接続中の端末の情報が接続した順に一覧表示されます。
 - ホスト名を変更:[編集]をクリック▶内容を編集▶[保存]をクリック(使用できる文字は64文字までの半角英数字/アンダーバー(_)/ハイフン(-)です。)
 - [MACアドレスフィルタリング]にMACアドレスを追加:[接続許可リストに追加]をクリック

MACアドレスフィルタリング

■ MACアドレスを追加する

1 設定ツール画面で[接続端末]▶[MACアドレスフィルタリング]を順にクリック

2 [MACアドレス]の[追加]をクリック

3 [説明]欄/[MACアドレス]欄を入力▶[OK]をクリック

- 接続を許可するWi-Fi対応機器のMACアドレスを10件まで登録できます。
- 追加したMACアドレスは一覧表示されます。
 - 追加したMACアドレスを編集:[編集]をクリック▶内容を編集▶[OK]をクリック
 - 追加したMACアドレスを削除:[削除]▶[はい]を順にクリック

■ MACアドレスフィルタリングの有効/無効を切り替える

1 設定ツール画面で[接続端末]▶[MACアドレスフィルタリング]を順にクリック

2 [MACアドレスフィルタリング]の[有効]/[無効]をクリック

3 [適用]をクリック

設定

モバイルネットワーク設定

モバイルネットワークやAPN プロファイル設定、ドコモnanoUIMカードのPINコードについて設定します。

■ ネットワーク設定

モバイルネットワークで使用するネットワークモードや通信事業者を設定します。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [モバイルネットワーク設定]を順にクリック

2 [ネットワーク設定]をクリック

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.64「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- ネットワークモード: ネットワークモードを選択します。
- ネットワーク検索: 通信事業者の検索方法を設定します。
 - 通信事業者を手動で選択するときはP.63「通信事業者の設定」

4 [適用]をクリック

■ ローミング設定

ローミングを有効にするか設定します。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [モバイルネットワーク設定]を順にクリック

2 [ローミング設定]をクリック

3 [国際ローミング]の[有効]/[無効]をクリック

4 [適用]をクリック

■ APN プロファイル設定

APN(アクセスポイント名)を設定します。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [モバイルネットワーク設定]を順にクリック

2 [APN プロファイル設定]をクリック

- 現在接続中のAPNプロファイルが表示されます。

3 APNプロファイルを選択

- [新規]をクリックすると、APNプロファイルを追加できます。
 - APNプロファイルは、お買い上げ時に登録されている[spモード]と合わせて10件まで登録できます。
- 追加したAPNプロファイルを本端末で利用する場合は、[APNプロファイル設定]で利用するAPNプロファイルを選択し[適用]をクリックしてください。
- 追加したAPNプロファイルの[編集]、[削除]をクリックすると、APNプロファイルの編集、削除ができます。ただし、お買い上げ時に登録されている[spモード]の編集、削除はできません。

4 [適用]をクリック

PIN管理

ドコモnanoUIMカードのPINコードについて設定します。PINコードについてはP.17「暗証番号について」

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [PIN管理]を順にクリック

2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.64「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **PINロック**:電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護するが設定します。
- **PINを入力**:現在のPINコードを入力します。

3 [適用]をクリック

■ PINコードの変更

[PINロック]を[有効]に設定しているときのみ変更できます。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [PIN管理]を順にクリック

2 [PIN変更]をクリック

3 [現在のPINを入力]／[新しいPINを入力]／[新しいPINを再入力]をそれぞれ入力 ▶ [OK]をクリック

LAN設定

DHCPサーバー(LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる)機能やファイアウォール(インターネットからの不正な侵入を防ぐ機能)などを設定します。

■ DHCPサーバー

DHCPサーバー(LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる)機能を設定します。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

2 [DHCPサーバー]をクリック

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.64「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **ホストIPアドレス**:本端末のホストIPアドレスを設定します。
- **ホストサブネットマスク**:ホストサブネットマスクを設定します。
- **DHCPサーバー**:DHCP機能の[有効]／[無効]を設定します。
- **DHCP範囲**:WiFi対応機器に割り当てる開始と終了のIPアドレスを設定します。
- **リース時間(分)**:IPアドレスのリースタイムを設定します。
- **DNS設定**:DNS機能の種別を設定します。
- **プライマリDNS**:プライマリDNSを設定します。
- **セカンダリDNS**:セカンダリDNSを設定します。

4 [適用]をクリック

■ ファイアウォール

ファイアウォール(インターネットからの不正な侵入を防ぐ機能)を設定します。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

2 [ファイアウォール]をクリック

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.64「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **IPアドレスフィルタリング**:IPアドレスフィルタリングによるファイアウォール機能の[有効]／[無効]を設定します。
- **WANポートPINGブロック**:WANポートPINGブロックによるファイアウォール機能の[有効]／[無効]を設定します。

4 [適用]をクリック

- SPモード時は[WANポートPINGブロック]機能を無効にしても、WAN側からPINGを通すことはできません。
- ポートマッピングおよびDMZ機能をご利用時は、ファイアウォール機能のIPアドレスフィルタリングはご利用いただけません。

■ IPアドレスフィルタリング

インターネットとの通信について、設定したルールに従い、LAN側(送信側)とWAN側(送信先)の各アドレスからファイアウォールを通過させるかどうかを判断します。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

2 [IPアドレスフィルタリング]をクリック

3 [フィルターモード]の[拒否] / [許可]をクリック

4 [ルールを追加]をクリック

5 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.64「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **IPタイプ**: フィルタリングを設定するIPのタイプを選択します。
- **プロトコル**: ルールを適用するプロトコルを選択します。
- **LAN IPアドレス**: ルールを適用するLAN側(送信側)端末のIPアドレスを設定します。*1
- **LANポート**: ルールを適用するLAN側(送信側)ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。*2
- **WAN IPアドレス**: ルールを適用するWAN側(送信先)端末のIPアドレスを設定します。*1
- **WANポート**: ルールを適用するWAN側(送信先)ポート番号、またはポート番号の範囲を設定します。*2
- **方向**: LAN側(送信側)とWAN側(送信先)の各アドレスからファイアウォールを通過させる方向を設定します。
 - [IN]に設定すると、指定したWAN IPアドレスから指定したLAN IPアドレスに対するパケットに適用します。
 - [OUT]に設定すると、指定したLAN IPアドレスから指定したWAN IPアドレスに対するパケットに適用します。

6 [保存]をクリック

- 操作4~6を繰り返してIPアドレスフィルタリングのルールを50件まで登録できます。
- 追加したルールは一覧表示されます。
 - 追加したルールを編集: [編集]をクリック ▶ 内容を編集 ▶ [保存]をクリック
 - 追加したルールを削除: [削除] ▶ [はい]を順にクリック

7 [適用]をクリック

- ※1 末尾にCIDR値を入力すると範囲指定することができます。
「192.168.100.0/24」と入力(CIDR値を「/24」と入力)すると、サブネットマスクは「255.255.255.0」となり、範囲指定は、「192.168.100.0~192.168.100.255」になります。
- ※2 ポート番号の範囲を指定する場合は、番号間に「-」を入力してください(例: 100-200)。
ポート番号を指定しない場合は、「*」を入力してください(例: *)。

■ ポートマッピング

インターネットからLAN内にある特定の端末にアクセスできるように設定します。サーバーやFTPを公開する場合、一部のオンラインゲームやメッセージングソフトなどを利用する場合に設定します。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

2 [ポートマッピング]をクリック

3 [ルールを追加]をクリック

4 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.64「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **ルール名**: ポートマッピングのルールに任意の名前を付けます。
- **送信元IPアドレス(任意)**: ルールを適用する送信元のIPアドレスを設定します。
- **WANポート**: ルールを適用するWAN側(送信元)のポート番号を設定します。*
- **LAN IPアドレス**: サーバーとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。
- **LANポート**: サーバーとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送するときの送信先ポート番号を設定します。ポート番号を変換する必要がない場合は、[WANポート]と同じ値を設定します。
- **プロトコル**: ルールを適用するプロトコルを選択します。*

5 [保存]をクリック

- 操作3~5を繰り返してポートマッピングのルールを10件まで登録できます。
- 追加したルールは一覧表示されます。
 - 追加したルールを編集: [編集]をクリック ▶ 内容を編集 ▶ [保存]をクリック
 - 追加したルールを削除: [削除] ▶ [はい]を順にクリック

※ WANポートとプロトコルの値が、重複して複数登録されている場合は、最新のルールが適用されます。

- SPモード時は[ポートマッピング]機能を利用できません。

■ DMZ

LAN内にある特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定できます。ポート番号の設定をしなくても、Webサーバーを公開したり、オンラインゲームなどを利用したりできるようになります。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [LAN設定]を順にクリック

2 [DMZ]をクリック

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.64「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **DMZ**:DMZ機能の[有効] / [無効]を設定します。
- **DMZ IPアドレス**:DMZホストのIPアドレスを設定します。[DMZ]を[有効]に設定しているときに設定できます。

4 [適用]をクリック

- SPモード時は[DMZ]機能を利用できません。

Wi-Fi設定

■ 基本設定

Wi-Fiの基本的な機能を設定できます。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [Wi-Fi設定]を順にクリック

2 [基本設定]をクリック

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値については(P.64「メニュー一覧(Webブラウザ)」)
- **Wi-Fi**: 本端末のWi-Fi機能の[有効]/[無効]を設定します。
 - 以前に[Wi-Fiモード]を[5GHz]に設定した状態で[無効]に設定し、再度[有効]に設定すると、Wi-Fi機能が5GHz帯で有効になるため、気象レーダーなどの電波干渉を確認する画面などが表示されます。詳しくは「Wi-Fiモード」(P.53)をご参照ください。
- **マルチSSID**: マルチSSID機能の[有効]/[無効]を設定します。
- **SSID間通信隔離**: SSID AとSSID Bの間で通信を利用するか設定します。
- **接続可能台数**: Wi-Fi機能を利用時の接続可能台数を設定します。
- **端末でSSIDとパスワードを表示する**: 本端末のホーム画面で[Wi-Fi接続] ▶ [手動接続] ▶ SSIDを選択と操作したときに、本端末のSSIDとパスワード、セキュリティ(暗号化方式)を表示するか設定します。
- **インターフェイス**: インターフェイス(SSID A、SSID B)を選択します。[マルチSSID]を[有効]に設定しているときに選択できます。
 - [SSID]以下の項目は選択したインターフェイスについて設定します。
- **SSID**: ネットワーク名(SSID)を設定します。
- **セキュリティ(暗号化方式)**: セキュリティを選択します。
 - [Enhanced Open(OWE)]は[Open]より本端末とWi-Fi対応機器の間の通信をさらに暗号化します。
 - [Enhanced Open(OWE)]を利用する場合、接続するWi-Fi対応機器が対応している必要があります。[Enhanced Open(OWE)]に対応しているかどうかは、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- **パスワード**: 使用するパスワードを指定します。[セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)]、[WPA3-SAE(AES)]、[WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)]に設定しているときに設定できます。
 - [表示する]にチェックを入れると、入力しているパスワードが表示されます。
- **SSIDステルス**: SSIDがWi-Fi対応機器から見えないようにするか設定します。
- **プライバシーレベラーター**: 同時に接続しているWi-Fi対応機器同士のアクセスを禁止するか設定します。
- **Wi-Fi暗号化強化(PMF)**: Wi-Fi暗号化強化(PMF)の[有効]/[無効]を設定します。
 - [セキュリティ(暗号化方式)]が[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)]の場合に設定できます。
 - [セキュリティ(暗号化方式)]が[Enhanced Open(OWE)]または[WPA3-SAE(AES)]、[WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)]の場合は常に[有効]です。
- **SSID BユーザーのWeb設定ツールへのアクセス**: [SSID B]を利用してWi-Fi接続している機器からの設定ツール(Webブラウザ)の表示を許可するか設定します。[SSID間通信隔離]を[無効]、[インターフェイス]を[SSID B]に設定しているときに設定できます。

4 [適用]をクリック

- [Wi-Fi設定を初期値に戻す]をクリックすると、[Wi-Fi設定]の[基本設定]のすべての項目、[詳細設定]の[Wi-Fiモード]、[Wi-Fiチャンネル]、[Wi-Fi帯域幅]、[Wi-Fi送信出力]をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

■ 詳細設定

Wi-Fiの詳細な設定ができます。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [Wi-Fi設定]を順にクリック

2 [詳細設定]をクリック

3 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.64「メニュー一覧(Webブラウザ)」
- **Wi-Fiモード**: Wi-FiモードについてはP.53「Wi-Fiモード」
- **Wi-Fiチャネル**: 利用チャネルを選択します。
- **Wi-Fi帯域幅**: 帯域幅を設定します。
- **スリープモード設定**: スリープモード設定の[有効] / [無効]を設定します。
 - スリープモードとは、Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にOFFにする機能です。
 - 以下の場合、スリープモードになりません。
 - ・ 画面点灯中
 - ・ ACアダプタで充電中
 - ・ パソコンなどとUSB接続中
- **スリープモードタイマー**: [スリープモード設定]が[有効]に設定されている場合に、Wi-Fi機能を自動的にOFFにするまでの時間を設定します。
- **Wi-Fi送信出力**: Wi-Fiの送信出力について設定します。
- **TCP NATタイマー(秒)**: TCP用のNAPT機能を利用する場合のIPアドレス/ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間(秒)を設定します。
- **UDP NATタイマー(秒)**: UDP用のNAPT機能を利用する場合のIPアドレス/ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間(秒)を設定します。

4 [適用]をクリック

- 5GHz帯でW56に含まれる144chを使用する場合は、[Wi-Fiモード]を[5GHz]に設定し、[Wi-Fiチャネル]を[自動(144chを含む)]に設定してください。
ただし、[自動(144chを含む)]に設定した場合、144chに対応していないWi-Fi対応機器と通信ができなくなることがあります。
- [Wi-Fiモード]を[2.4GHz]に設定し、[Wi-Fiチャネル]を[12]または[13]に設定している状態で日本国外または圏外の場合、[Wi-Fiチャネル]は[自動]に切り替わります。
- [マルチSSID]を[有効]に設定し、SSID Bを利用できるように設定している場合、[Wi-Fiモード]は、SSID AとSSID Bの両方に反映されます。SSID AとSSID Bで異なる設定はできません。そのため、2.4GHz帯と5GHz帯の周波数帯を同時利用することもできません。

Wi-Fiモード

利用する周波数帯を設定します。

- お買い上げ時は[2.4GHz]に設定されています。
- ドコモnanoUIMカードが未挿入、または国際ローミング中の場合は[5GHz]に設定できません。
- 屋内で5GHzの周波数帯を利用する場合は、本端末を充電中、または有線LAN接続中に設定してください。本端末を充電中、または有線LAN接続中のみ、5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)を利用できます。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [Wi-Fi設定] ▶ [詳細設定]を順にクリック

2 [Wi-Fiモード]で周波数帯を選択

3 [適用]をクリック

- 本端末を充電中、または有線LAN接続中に[5GHz]に設定した場合は、[屋内] / [屋外]の選択画面が表示されます。本端末の利用場所に合わせて選択してください。選択しないで、30秒間経過すると、自動的に[屋外]に設定されます。
本端末を充電中ではなく、有線LAN接続中でもない場合に、[5GHz]に設定したときは、自動的に[屋外]に設定され、選択画面は表示されません。



- [5GHz]に設定した場合は、気象レーダーなどの電波干渉を確認する画面が表示されます。確認が完了するまで、しばらくお待ちください。

■ WPS

Wi-Fi対応機器とWPS機能を利用して接続する場合に、設定ツールからWPS接続を開始できます。

1 設定ツール画面で[設定] ▶ [Wi-Fi設定]を順にクリック

2 [WPS]をクリック

3 [開始]をクリック

- 開始後、WPS接続を止めるときは[中止]をクリックします。

4 Wi-Fi対応機器を操作して接続する

- Wi-Fi対応機器の操作については、「Wi-Fiで接続／通信する」(P.25)をご参照ください。

端末設定

本端末を利用するための各種設定を行います。

■ Web設定ツールパスワード

設定ツールのログインパスワードを設定します。

- お買い上げ時のパスワードはIMEI情報(端末識別番号)下6桁の数字に設定されています。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [Web設定ツールパスワード]をクリック
- 3 [現在のパスワードを入力]、[新しいパスワードを入力]、[新しいパスワードを再入力]欄をそれぞれ入力
 - [パスワード表示]にチェックを入れると、入力しているパスワードが表示されます。
- 4 [適用]をクリック

■ データ通信量設定

モバイルネットワークを利用したデータ通信量について設定します。

データ通信量の情報をリセットする

モバイルネットワークを利用したデータ通信量のカウンタをリセットできます。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [データ通信量設定]をクリック
- 3 [リセット]をクリック

データ通信量の上限を設定する

当月使用するデータ通信量の上限を設定できます。

- お買い上げ時は[7GB]に設定されています。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [データ通信量設定]をクリック
- 3 [最大通信量]で上限を設定する
 - 単位[MB]／[GB]／[TB]を選択することができます。
- 4 [適用]をクリック

- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量はMy docomoで確認することができます。

■ 有線LAN設定

有線LAN接続時の通信速度について設定します。

- お買い上げ時は[自動]に設定されています。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [有線LAN設定]をクリック
- 3 [通信速度]の[自動]／[100 Mbps]をクリック
- 4 [適用]をクリック

- [100 Mbps]に設定すると、通信速度が100Mbpsまでに制限されますが電力の消費を軽減します。

■ USBモード

USB通信規格を設定します。

- お買い上げ時は[USB 3.0]に設定されています。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [USBモード]をクリック
- 3 [USBモード]の[USB 2.0]／[USB 3.0]をクリック
- 4 [適用]をクリック

- 本端末をパソコンなどとUSB接続している場合は、確認画面が表示されます。内容を確認し、[OK]を選択してください。

■ バックアップとリストア

- 本端末に設定した内容をパソコンに保存したり、保存した設定情報を読み込んだりできます。
- ブラウザの設定によっては、保存先フォルダとファイル名を指定できない場合があります。
 - バックアップとリストアできる設定項目についてはP.64「メニュー一覧(Webブラウザ)」

バックアップする

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [バックアップとリストア] ▶ [バックアップ]を順にクリック
- 3 画面の指示に従ってファイルを保存する

復元(リストア)する

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [バックアップとリストア]をクリック
- 3 [ファイルを選択]をクリック ▶ 以前にバックアップした設定情報のファイルを選択
- 4 [リストア]をクリック
 - 設定が読み込まれ、本端末が自動的に再起動します。

■ ソフトウェア更新

- 新しいバージョンのソフトウェアがないか自動的に確認したり、自動的に更新する時刻を設定したりします。
- ソフトウェア更新について詳しくは、「ソフトウェア更新」(P.72)をご参照ください。
 - お買い上げ時は、新しいバージョンのソフトウェアの情報が届いた場合はAM4:00に自動更新するように設定されています。

自動更新に設定する

更新情報が本端末に届くと自動でソフトウェアを更新します。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [ソフトウェア更新]をクリック
- 3 [自動更新]の[有効]をクリック
- 4 [更新時刻(時)]で自動更新する時刻を入力
 - ソフトウェア更新中はデータ通信を利用できません。本端末を利用しない時間帯に設定してください。
- 5 [適用]をクリック

すぐに更新する

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [ソフトウェア更新]をクリック
- 3 [更新] ▶ [更新]を順にクリック
 - ソフトウェア更新が不要な場合、[新しいバージョンはありません]と表示されます。

■ オールリセット

設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [オールリセット]をクリック
- 3 [オールリセット]をクリック
 - 本端末が自動的に再起動し、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

■ 再起動

すぐに再起動する

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [再起動]をクリック
- 3 [再起動]をクリック
- 4 [再起動]をクリック
 - 本端末が再起動します。

自動再起動を設定する

指定した日数を経過すると、指定した時刻に再起動するように設定できます。

- お買い上げ時は、[無効]に設定されています。

- 1 設定ツール画面で[設定] ▶ [端末設定]を順にクリック
- 2 [再起動]をクリック
- 3 [自動再起動]の[有効]をクリック
- 4 [自動再起動時間]欄で日数と時刻を入力
- 5 [適用]をクリック

端末情報

本端末に取り付けているドコモnanoUIMカードの電話番号やIMEI情報(端末識別番号)など、本端末の情報を確認できます。

- 1 設定ツール画面で[端末情報]をクリック

各種設定(本体メニュー)

本端末の本体メニューについて

本端末のメニューからさまざまな設定の変更や設定内容の確認ができます。

- 本端末では一部の機能を設定できません。パソコンから設定ツールを利用するとすべての機能を設定できます(☞P.43「設定ツールについて」)。

操作はホーム画面から行います。



機能	説明	参照先
Wi-Fi接続	画面の指示に従って操作すると、本端末とWi-Fi対応機器を接続できます。	P.23
データ通信量	本端末で通信したモバイルネットワークのデータ通信量を確認できます。また、本端末で通信するデータ量の上限を設定できます。	P.58
接続リスト	本端末に接続している機器の一覧を表示します。	—
設定	各種機能の詳細設定をします。	P.59
端末情報	本端末の情報を確認できます。	—

■ 前の画面に戻る場合

- 画面左上の[<]をタッチします。



■ ホーム画面に戻る場合

- 画面右上の[家]をタッチします。

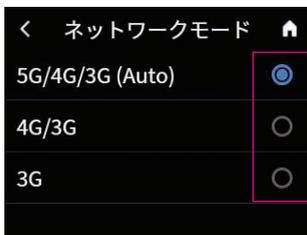


■ 項目を選択する場合

- 選択する項目をタッチします。



- [●] / [○]が表示されている場合は[●]をタッチして選択します。



- [●●] / [●●]が表示されている場合は[●●]をタッチしてOFFに、[●●]をタッチしてONに切り替えます。



データ通信量

モバイルネットワークを利用したデータ通信量について設定します。

■ データ通信量の情報をリセットする

モバイルネットワークを利用したデータ通信量のカウントをリセットできます。

1 ホーム画面で[データ通信量]

- 利用したデータ通信量が表示されます。最終リセット日も確認できます。

2 [リセット] ▶ [OK]

■ データ通信量の上限を設定する

当月使用するデータ通信量の上限を設定できます。

- お買い上げ時は[7GB]に設定されています。

1 ホーム画面で[データ通信量]

2 [最大通信量]で上限を設定する

- [MB] / [GB] / [TB]をタッチして単位を切り替えることができます。

- 表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量はMy docomoで確認することができます。

設定

モバイルネットワーク

モバイルネットワークで使用するネットワークモードや国際ローミングなどを設定します。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[モバイルネットワーク]

2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.68「メニュー一覧(本体メニュー)」
- ネットワークモード: ネットワークモードについてはP.63「ネットワークモード」
- APNプロファイル選択: APNプロファイルを選択します。
- 国際ローミング: 国際ローミングについてはP.63「国際ローミング」

Wi-Fi設定

Wi-Fi機能の[ON]/[OFF]や利用する周波数帯を設定します。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[Wi-Fi設定]

2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.68「メニュー一覧(本体メニュー)」
- Wi-Fi: 本端末のWi-Fi機能の[ON]/[OFF]を設定します。
 - 以前に[Wi-Fiモード]を[5GHz]に設定した状態で[OFF]に設定し、再度[ON]に設定すると、Wi-Fi機能が5GHz帯で有効になるため、気象レーダーなどの電波干渉を確認する画面などが表示されます。詳しくは「Wi-Fiモード」(P.59)をご参照ください。
- Wi-Fiモード: Wi-FiモードについてはP.59「Wi-Fiモード」

■ Wi-Fiモード

利用する周波数帯を設定します。

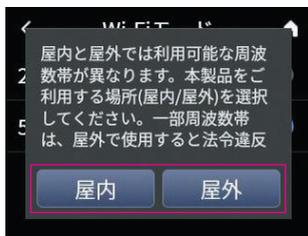
- お買い上げ時は[2.4GHz]に設定されています。
- ドコモnanoUIMカードが未挿入、または国際ローミング中の場合は[5GHz]に設定できません。
- 屋内で5GHzの周波数帯を利用する場合は、本端末を充電中、または有線LAN接続中に設定してください。本端末を充電中、または有線LAN接続中のみ、5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)を利用できます。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[Wi-Fi設定]

2 [Wi-Fiモード]

3 周波数帯を選択

- 本端末を充電中、または有線LAN接続中に[5GHz]に設定した場合は、[屋内]/[屋外]の選択画面が表示されます。本端末の利用場所に合わせて選択してください。選択しないで、30秒間経過すると、自動的に[屋外]に設定されます。
- 本端末を充電中ではなく、有線LAN接続中でもない場合に、[5GHz]に設定したときは、自動的に[屋外]に設定され、選択画面は表示されません。



- [5GHz]に設定した場合は、気象レーダーなどの電波干渉を確認する画面が表示されます。確認が完了するまで、しばらくお待ちください。

Wi-Fiスリープ設定

Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にOFFにするか設定します。

- 以下の場合、スリープモードになりません。
 - 画面点灯中
 - ACアダプタで充電中
 - パソコンなどとUSB接続中

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[Wi-Fiスリープ設定]

2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.68「メニュー一覧(本体メニュー)」
- **スリープ設定**:スリープモードを利用するか設定します。
- **オフまでの時間**:「スリープ設定」が[ON]に設定されている場合に、Wi-Fi機能を自動的にOFFにするまでの時間を設定します。

画面ロック

ディスプレイを表示させたときのタッチパネルのロック解除時にパスワード入力が必要にするか設定します。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[画面ロック]

2 [ロック]の/[

- 設定を変更した場合は、画面に従って4桁の現在のパスワード/新しいパスワードなどを入力し、[OK]をタッチします。
- ONに設定している場合は、[パスワード変更]をタッチし画面に従って4桁の現在のパスワード/新しいパスワードを入力し、[OK]をタッチします。

画面設定

ディスプレイの明るさや何も操作しなかった場合の画面点灯時間を設定します。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[画面設定]

2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.68「メニュー一覧(本体メニュー)」
- **画面の明るさ**:本端末のディスプレイの明るさをバーをスライドして調整します。
- **画面点灯時間**:本端末のディスプレイを何も操作しなかった場合に消灯するまでの時間を設定します。

Language Setting

ディスプレイに表示する言語を設定します。

- お買い上げ時は[日本語]に設定されています。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[Language Setting]

2 [日本語]/[English]

時刻設定

現在日時について設定します。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[時刻設定]

2 以下の項目を設定

- 設定範囲や初期値についてはP.68「メニュー一覧(本体メニュー)」
- **タイムゾーン自動設定**:自動選択するか設定します。
- **タイムゾーン選択**:タイムゾーンを手動で設定します。[タイムゾーン自動設定]がOFFの場合に設定できます。
- **24時間表示を使う**:時刻表示を24時間制で表示するか設定します。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新については、「ソフトウェア更新」(P.72)をご参照ください。

USBモード

USB通信規格を設定します。

- お買い上げ時は[USB 3.0]に設定されています。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[USBモード]

2 [USB 2.0]/[USB 3.0]

- 本端末をパソコンなどとUSB接続している場合は、確認画面が表示されます。内容を確認し、[OK]を選択してください。

クイック起動

ONに設定すると、次回電源を入れた際に起動までの時間を短くします。ただし、電源を切っている状態でもより多くの電力を消費します。

- お買い上げ時は[ON]に設定されています。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[クイック起動]

2 [クイック起動]の[]/[]

web設定ツールの表示

設定ツール画面の表示方法を確認できます。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[web設定ツールの表示]

電池性能表示

本端末の内蔵電池の状態が確認できます。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[電池性能表示]

- 表示される内容は目安です。
- 十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、本端末を海外で利用するときに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。

国際ローミング(WORLD WING)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

<https://www.nttdocomo.co.jp/service/world/roaming/>

対応ネットワークについて

本端末はLTEネットワーク、3Gネットワークのサービスエリアでご利用になれます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用になれます。

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国、地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

海外で利用可能なサービス

主な通信サービス	LTE	3G	3G850
パケット通信*	○	○	○

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、[国際ローミング]をONにしてください(☞P.63「国際ローミング」)。

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、ホーム画面で確認できます(☞P.21「画面の見かた」)。

海外でご利用になる前に

■ ご出発前の確認

海外でご利用になる際は、日本国内で次の確認をしてください。

ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

料金について

- 海外でのご利用料金(パケット通信料)は日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。

■ 滞在国内の確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

[ネットワーク検索]を[自動]に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します(☞P.63「通信事業者の設定」)。

海外で利用するための設定

国際ローミング

海外でパケット通信を行うためには、[国際ローミング]を[ON]に設定する必要があります。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[モバイルネットワーク]▶[国際ローミング]▶ONに設定する

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

ネットワークモード

使用するネットワークを設定します。

1 ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[モバイルネットワーク]▶[ネットワークモード]

2 以下の項目を設定

- 5G/4G/3G(Auto): 利用できるネットワークに自動的に切り替えます。
- 4G/3G: LTE/3Gネットワークを利用します。
- 3G: 3Gネットワークを利用します。

通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

- あらかじめ、本端末をパソコンなどと接続し、設定ツール画面でログインしてください(☞P.44「設定ツールを表示する」)。

1 設定ツール画面で[設定]▶[モバイルネットワーク設定]▶[ネットワーク設定]を順にクリック

2 [ネットワーク検索]の[手動]をクリック

- 利用可能なネットワークを検索して表示します。

3 通信事業者のネットワークを選択

4 [適用]をクリック

日付と時刻

[タイムゾーン自動設定]をONにしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻については☞P.60「時刻設定」

お問い合わせ

- 本端末やドコモnanoUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。

海外でパケット通信を利用した場合

- [国際ローミング]を[OFF]に設定してください(☞P.63「国際ローミング」)。

帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- [ネットワークモード]を[5G/4G/3G(Auto)]に設定してください(☞P.63「ネットワークモード」)。
- [ネットワーク検索]を[自動]に設定してください(☞P.47「ネットワーク設定」)。

メニュー一覧

メニュー一覧(Webブラウザ)

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バック アップ/ リストア	参照先	
ホーム					
Language	日本語、English	日本語	－	P.45	
接続端末					
接続リスト	－	－	－	P.46	
MACアドレスフィルタリング					
MACアドレスフィルタリング	有効、無効	無効	○	P.46	
追加					
説明	32文字までの半角英数字／ 記号(、:;&%+’<’?¥を除く) ※上記以外の文字については 最大10文字に制限される 場合があります。	－	○		
MACアドレス	6組の16進数2桁番号	－	○		
設定					
モバイルネットワーク設定					
ネットワーク設定					
ネットワークモード	5G／4G／3G(Auto)、4G／ 3G、3G	5G／4G／3G (Auto)	○	P.47	
ネットワーク検索	自動、手動	自動	○		
ローミング設定					
国際ローミング	有効、無効	無効	○	P.47	
APNプロファイル設定					
現在のAPNプロファイル	表示されるプロファイルか ら1つ選択	spモード	○	P.47	
新規					
プロファイル名	32文字までの半角英数字／ 記号 ※上記以外の文字については 最大10文字に制限される 場合があります。	－	○		
APN名	62文字までの半角英数字／ ドット(.)／ハイフン(-)	－	○		
ユーザー名	64文字までの半角英数字／ 記号 ※上記以外の文字については 最大21文字に制限される 場合があります。	－	○		
パスワード	32文字までの半角英数字／ 記号 ※上記以外の文字については 最大10文字に制限される 場合があります。	－	○		
認証方式	None、Auto、CHAP、PAP	CHAP	○		
IPタイプ	IPv4、IPv6、IPv4／IPv6	IPv4／IPv6	○		
IPタイプ(ローミング)	IPv4、IPv6、IPv4／IPv6	IPv4	○		

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ/リストア	参照先	
PIN管理					
PINロック	有効、無効	－	－	P.48	
PINを入力	4～8文字の数字	－	－		
PIN変更	4～8文字の数字	－	－		
LAN設定					
DHCPサーバー					
ホストIPアドレス	192.168.0.0～ 192.168.255.255	192.168.128.1	○	P.48	
ホストサブネットマスク	255.255.0.0～ 255.255.255.255	255.255.255.0	○		
DHCPサーバー	有効、無効	有効	○		
DHCP範囲	192.168.0.0～ 192.168.255.255	開始: 192.168.128.100 終了: 192.168.128.200	○		
リース時間(分)	2分～43200分(30日)	1440分	○		
DNS設定	ダイナミック、スタティック	ダイナミック	○		
プライマリDNS	0.0.0.0～255.255.255.255	－	○		
セカンダリDNS	0.0.0.0～255.255.255.255	－	○		
ファイアウォール					
IPアドレスフィルタリング	有効、無効	無効	○		P.48
WANポートPINGブロック	有効、無効	有効	○		
IPアドレスフィルタリング					
フィルターモード	拒否、許可	拒否	○	P.49	
ルールを追加					
IPタイプ	IPv4、IPv6	IPv4	○		
プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP、 ICMP	TCP/UDP	○		
LAN IPアドレス	0.0.0.0～255.255.255.255	－	○		
LANポート	1～65535	－	○		
WAN IPアドレス	0.0.0.0～255.255.255.255	－	○		
WANポート	1～65535	－	○		
方向	OUT、IN	OUT	○		
ポートマッピング					
ルールを追加					
ルール名	32文字までの半角英数字/ 記号(、:;%+`'/?*を除外) ※上記以外の文字については 最大10文字に制限される 場合があります。	－	○	P.49	
送信元IPアドレス(任意)	0.0.0.0～255.255.255.255	－	○		
WANポート	1～65535	－	○		
LAN IPアドレス	0.0.0.0～255.255.255.255	－	○		
LANポート	1～65535	－	○		
プロトコル	TCP/UDP、TCP、UDP	TCP/UDP	○		
DMZ					
DMZ	有効、無効	無効	○	P.50	
DMZ IPアドレス	192.168.0.0～ 192.168.255.255	192.168	○		

メニュー項目／設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ／リストア	参照先
Wi-Fi設定				
基本設定				
Wi-Fi	有効、無効	有効	○	P.51
マルチSSID	有効、無効	無効	○	
SSID間通信隔離	有効、無効	有効	○	
接続可能台数	1～16	16	○	
端末でSSIDとパスワードを表示する	On、Off	On	○	
インターフェイス	SSID A、SSID B	SSID A	—	
SSID	32文字までの半角英数字 ※ 上記以外の文字については最大10文字に制限される場合があります。	SSID A:SH-52Aa-XXXXXX SSID B:SH-52Ab-XXXXXX ※ XXXXXXはMACアドレス下6文字	○	
セキュリティ(暗号化方式)	Open、Enhanced Open (OWE)、WPA2-PSK (AES)、WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)、WPA3-SAE (AES)、WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)	WPA2-PSK/ WPA3-SAE (AES)	○	
パスワード	8～63文字の半角英数字／記号(、;、&、%、+、◇、?、¥を除く) ※ [セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK (AES)]、または[WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)]に設定している場合は、64桁の16進数(0～9、A～F、a～f)に設定することもできます。	ランダムな半角10文字	○	
SSIDステルス	有効、無効	無効	○	
プライバシーセパレーター	有効、無効	有効	○	
Wi-Fi暗号化強化(PMF)	有効、無効	有効	○	
SSID BユーザーのWeb設定ツールへのアクセス	許可、拒否	拒否	○	
Wi-Fi設定を初期値に戻す	—	—	—	

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ/リストア	参照先
詳細設定				
Wi-Fiモード	2.4GHz、5GHz	2.4GHz	○	P.53
Wi-Fiチャネル	2.4GHz:自動、1~13 5GHz:自動(144chを含まない)、自動(144chを含む) ※日本国外または圏外の場合は1~11となります。	2.4GHz:自動 5GHz:自動(144chを含まない)	○	P.52
Wi-Fi帯域幅	2.4GHz:Auto(20/40MHz)、20MHz 5GHz:Auto(20/40/80MHz)、20MHz、40MHz	2.4GHz:Auto(20/40MHz) 5GHz:Auto(20/40/80MHz)	○	
スリープモード設定	有効、無効	有効	○	
スリープモードタイマー	5分、10分、15分	10分	○	
Wi-Fi送信出力	高、低	高	○	
TCP NATタイマー(秒)	30~86400	300	○	
UDP NATタイマー(秒)	30~86400	300	○	
WPS	待機、実行中	待機	-	P.53
端末設定				
Web設定ツールパスワード	8~32文字の半角英数字/記号(、:;&%+<?¥を除く) ※英大文字、英小文字、数字、記号の4種の文字をそれぞれ1文字以上含める	IME情報(端末識別番号)下6桁の数字	-	P.54
データ通信量設定				
リセット	-	-	-	P.54
最大通信量	1MB~999TB	7GB	○	
有線LAN設定				
通信速度	自動、100 Mbps	自動	○	P.54
USBモード				
USBモード	USB 2.0、USB 3.0	USB 3.0	○	P.54
バックアップとリストア				
バックアップ	-	-	-	P.55
リストア	-	-	-	
ソフトウェア更新				
自動更新	有効、無効	有効	○	P.55
更新時刻(時)	0~23	4	○	
更新	-	-	-	
オールリセット				
オールリセット	-	-	-	P.55
再起動				
今すぐ再起動	-	-	-	P.55
自動再起動	有効、無効	無効	○	
自動再起動時間	日数:1~30 時刻:00:00~23:59	日数:30 時刻:00:00	○	
端末情報	-	-	-	P.56

メニュー一覧(本体メニュー)

メニュー項目/設定項目	設定範囲	初期値	バックアップ/リストア	参照先
WiFi接続				
QRコードで接続	—	—	—	P.23
WPS	—	—	—	
手動接続				
SSID A	—	—	—	
SSID B	—	—	—	
有効	ON, OFF	OFF	○	
データ通信量				
リセット	—	—	—	P.58
データ通信量設定	1MB~999TB	7GB	○	
接続リスト	—	—	—	P.57
設定				
モバイルネットワーク				
ネットワークモード*	5G/4G/3G(Auto)、4G/3G、3G	5G/4G/3G (Auto)	○	P.63
APNプロファイル選択	spモード*	spモード	○	P.59
国際ローミング	ON, OFF	OFF	○	P.63
WiFi設定				
Wi-Fi	ON, OFF	ON	○	P.59
Wi-Fiモード*	2.4GHz、5GHz	2.4GHz	○	P.59
Wi-Fiスリープ設定				
スリープ設定	ON, OFF	ON	○	P.60
オフまでの時間	5分、10分、15分	10分	○	
画面ロック				
ロック	ON, OFF	OFF	○	P.60
パスワード変更	4文字の数字	—	○	
画面設定				
画面の明るさ	10%~100% (スライダーの可動範囲)	30%	○	P.60
画面点灯時間	15秒、30秒、60秒、90秒、120秒	90秒	○	
Language Setting	日本語、English	日本語	○	P.60
時刻設定				
タイムゾーン自動設定	ON, OFF	ON	○	P.60
タイムゾーン選択	各国のタイムゾーン	—	○	
24時間表示を使う	ON, OFF	ON	○	
ソフトウェア更新				
自動更新	ON, OFF	ON	○	P.72
更新時刻	0~23	4	○	
ソフトウェアバージョン	—	—	—	
ソフトウェア更新	—	—	—	
USBモード	USB 2.0、USB 3.0	USB 3.0	○	P.61
クイック起動	ON, OFF	ON	○	P.61
web設定ツールの表示	—	—	—	P.61
電池性能表示	—	—	—	P.61
端末情報	—	—	—	P.57

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな?と思ったら

- 故障かな?と思ったら、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(☞P.72「ソフトウェア更新」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

- 本端末の電源が入らない
 - 電池切れになっていませんか。(☞P.18「充電」)
- 画面が動かない、電源が切れない
 - ○(電源キー)を8秒以上押すと、強制的に電源を切ることができます。
 - 手を離すと、電源が切れます。
 - 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

- 充電ができない
 - 充電ランプが点灯しない、または点滅する
 - アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリソケットに正しく差し込まれていますか。
 - アダプタと本端末が正しくセットされていますか。(☞P.19「ACアダプタで充電」)
 - ACアダプタ(別売)をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグと本端末がしっかりと接続されていますか。(☞P.19「ACアダプタで充電」)
 - USBケーブル(試供品)をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
 - 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(☞P.18「充電時のご注意」)
 - NTTドコモが指定したアダプタで充電していますか。指定したアダプタで充電しても充電ができない場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 端末操作

- 操作中・充電中に熱くなる
 - 操作中や充電中、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなる場合がありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。(☞P.18「充電時のご注意」)
- 電池の使用時間が短い
 - 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
 - 圏外が続く場所では電源を切ってください。(☞P.20「電源を切る/再起動する」)
 - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。(☞P.74「主な仕様」)
 - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。(☞P.18「内蔵電池の寿命」)
- タッチしたり、キーを押したりしても動作しない
 - 端末の電源が切れていませんか。(☞P.20「電源を入れる」)
- USBケーブル(試供品)で接続したパソコンが本端末を認識しない
 - 本端末が、USBケーブルで正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。(☞P.41「USBケーブルで接続/通信する」)
 - USBケーブルをパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。
 - USB HUBや変換プラグを使用していませんか。USB HUBや変換プラグを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- ドコモnanoUIMカードが認識しない
 - ドコモnanoUIMカードを正しい向きで挿入していますか。(☞P.15「ドコモnanoUIMカード」)
- 時計がずれる
 - 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[タイムゾーン自動設定]が[ON]になっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。(☞P.60「時刻設定」)

■ 接続、通信

- Wi-Fi対応機器を接続できない
 - 本端末とWi-Fi対応機器のWi-Fi機能がONになっていることを確認してください。また、Wi-Fi対応機器のWi-Fi仕様
が本端末と合致しているか、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書でご確認ください。☞P.24「対応機器を確認
する」
 - 正しいパスワードを入力しているか、確認してください。パスワードは下記の操作で確認できます。
ホーム画面で[Wi-Fi接続] ▶ [手動接続] ([SSID B])に接続する場合は、[有効]をONに設定してください。
 - [セキュリティ(暗号化方式)]を[WPA2-PSK(AES)]または[WPA/WPA2-PSK(AES+TKIP)]、[WPA3-SAE
(AES)]、[WPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)]に設定している場合は、お使いのWi-Fi対応機器がWPAおよびWPA2-
PSK、WPA3-SAEのセキュリティ(暗号化方式)に対応しているか、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書でご確認
ください。
 - Wi-Fi対応機器によっては、ステルス機能やPMF(Wi-Fi暗号化強化)に対応しておりません。
Wi-Fi接続できないときは、設定ツールから[Wi-Fi設定] ▶ [基本設定]の[SSIDステルス]と[Wi-Fi暗号化強化
(PMF)]を[無効]に設定してから、再度Wi-Fi接続し直してください。☞P.51「基本設定」
- インターネットに接続ができない(場所を移動しても[圏外]の表示が消えない)/通信が切れたり、通信速度が遅く
感じる
 - 電源を入れ直すか、ドコモnanoUIMカードを入れ直してください。☞P.15「ドコモnanoUIMカード」、P.20「電
源を入れる/切る」
 - 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[]」を表示している状態でもインターネットに接続ができな
い場合があります。場所を移動してください。
 - 時間帯によっては、電波の混み具合により、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間を
おいて再度接続してください。
- [圏外]が表示される
 - スリープモードになったあと、何も操作しない状態で約30分経過すると、モバイルネットワークを切断して省電
力状態になります。○(電源キー)を押し画面を点灯したり、充電を開始すると、モバイルネットワークに接続しま
す。
- 接続/切断したWi-Fi対応機器の表示が変わらない
 - 本端末にWi-Fi対応機器を接続、本端末からWi-Fi対応機器を切断しても接続台数の表示などが変わらないこと
がありますが、数分経過すると正しく表示されます。

■ 画面

- ディスプレイが暗い
 - [画面点灯時間]を短く設定していませんか。☞P.60「画面設定」
 - [画面の明るさ]を変更していませんか。☞P.60「画面設定」

■ 海外利用

- 海外で本端末が使えない(電波マークが表示されている場合)
 - 「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のお申し込みをされていますか。「国際ローミングサービス(WORLD
WING)」のお申し込み状況をご確認ください。☞P.62「国際ローミング(WORLD WING)の概要」
- 海外で本端末が使えない([圏外]が表示されている場合)
 - 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは
海外通信事業者がどうか、ドコモのホームページをご覧ください。☞P.62「国際ローミング(WORLD WING)の
概要」
 - ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。[ネットワークモード]を[5G/4G/3G
(Auto)]に設定してください。[ネットワーク検索]を[自動]に設定してください。☞P.47「ネットワーク設
定」、P.63「ネットワークモード」
 - 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。☞P.20「電源を入れる/切る」
- 海外でデータ通信ができない
 - [国際ローミング]をONにしてください。☞P.63「国際ローミング」
- 海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった
 - 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用
停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

エラーメッセージ

■ 本端末の表示

- [PINロック解除コード(PUK)が無効です]
 - PINロック解除コードが正しくありません。正しいPINロック解除コードを入力してください。
- [PINロック解除コード(PUK)がロックされています。お近くのドコモショップまでご来店ください。]
[PINロック解除コード(PUK)の入力回数が最大数に達しました。お近くのドコモショップまでご来店ください。]
 - PINロック解除コードの入力を、10回連続間違った場合に表示されます。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。☎P.17「PINロック解除コード(PUKコード)」
- [外部接続端子部が高温です。ケーブルを抜いてください。]
 - 接続端子部が高温になっています。ACアダプタ(別売)やUSBケーブル(試供品)を抜き、接続端子部の温度が下がってからご使用ください。
- [充電エラー]
 - 充電中にエラーが発生しています。「故障かな?と思ったら」の「充電」の内容を確認してください。☎P.69「故障かな?と思ったら」
- [ソフトウェアは最新です]
 - ソフトウェアを更新しようとした際に、現在の利用しているソフトウェアが最新状態のときに表示されます。そのままご使用ください。☎P.73「ソフトウェア更新を行う」
- [パスワードが一致しません]
 - [画面ロック]の[新しいパスワードを入力]と[新しいパスワードを再入力]が異なっています。正しいパスワードを入力してください。☎P.60「画面ロック」
- [本体が高温になっています。さらに高温が続く場合、シャットダウンすることがあります。]
 - 高温時は、一時的に機能制限がかかる場合があります。本体の温度が下がってからご使用ください。

■ 設定ツール(Webブラウザ)の表示

- [PINが一致しません]
 - PINコードが正しくありません。正しいPINコードを入力してください。
- [PINロック解除コード(PUK)が正しくありません]
 - PINロック解除コードが正しくありません。正しいPINロック解除コードを入力してください。
- [新しいパスワードが一致しません]
 - [Web設定ツールパスワード]の[新しいパスワードを入力]と[新しいパスワードを再入力]が異なっています。正しいパスワードを入力してください。☎P.54「Web設定ツールパスワード」
- [現在のパスワードが間違っています]
 - [Web設定ツールパスワード]の[現在のパスワードを入力]が異なります。正しいパスワードを入力してください。☎P.54「Web設定ツールパスワード」
- [終了IPアドレスは開始IPアドレス以降に設定する必要があります]
 - [DHCP範囲]で終了IPアドレスが開始IPアドレス以前に設定されています。終了IPアドレスを開始IPアドレス以降に設定してください。☎P.48「DHCPサーバー」
- [リース時間は2分以上43200分(30日)以下にしてください]
 - [リース時間(分)]に入力している数値(分)が設定できない数値になっています。2~43200(分)の範囲で入力してください。☎P.48「DHCPサーバー」
- [ログインするために本製品の画面を消してください]
 - 本端末のディスプレイが表示されています。本端末のディスプレイが表示されていると、設定ツールを利用できません。本端末のディスプレイを非表示にしてください。☎P.20「ディスプレイの表示/非表示」

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、「ご利用にあたっての注意事項」が付属されており、その中に保証書が含まれています。記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
 - 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
 - SIM取り出しツール、USBケーブルは無料修理保証の対象外となります。
 - SIM取り出しツール、USBケーブルは、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
 - 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
 - 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって設定された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、設定などの内容をご自身で控えをお取りくださるようお願いいたします。
- ※本端末は、設定された内容などのデータをパソコンに保存していただくことができます。☎P.55「バックアップとリストア」

アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでも調子が良くないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ・修理お申込み先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただけます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 保証期間内であっても、お客様のお取り扱い不良(外部接続端子・ディスプレイなどの破損)による故障・損傷、ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合(外部接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります)
- ドコモ指定の故障取扱窓口以外で修理を行ったことがある場合

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

修理受付対応状況については、ドコモのホームページをご覧ください。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱窓口へお問い合わせください。

■ お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - ・ ディスプレイ部やボタン部、キー部にシールなどを貼る
 - ・ 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - ・ 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
 - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に付いている銘板プレートは、取り外さないでください。銘板プレートが故意に取り外されたり、付け替えられた場合など、銘板プレートの内容が確認できないときは、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意ください。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスが変更される場合があります。
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新とは、本端末をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

ソフトウェア更新の種類としては以下の2つがあります。

- 新機能追加
端末機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。
- 品質改善
端末機能を更新することで、品質が向上し、本端末をより快適にご利用いただけます。

本端末に提供されている具体的なソフトウェア更新の内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。

■ ご利用条件

- 5G/Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合、[APNプロファイル選択]を[spモード]に設定してください(☞P.59「モバイルネットワーク」)。
- 5G/Xi/FOMAでのパケット通信をご利用の場合でも、ダウンロードによる通信料金が発生します。
- ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。
- ソフトウェア更新は、本端末に設定された内容を残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態(故障・破損・水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。

ソフトウェア更新を行う

■ 更新の開始

更新を開始する方法としては以下のいずれかの方法で行います。

- 自動的に更新
更新情報が本端末に届くと自動でソフトウェアを更新します。
あらかじめ、[ソフトウェア更新]の[自動更新]をONに設定してください。
また、[更新時刻]▶更新する時刻を選択して更新時刻を設定してください。
 - すぐに更新する
ホーム画面を左にスワイプ▶[設定]▶[ソフトウェア更新]▶[ソフトウェア更新]▶[OK]
- ※ソフトウェア更新が不要な場合、[ソフトウェアは最新です]と表示されます。

- ソフトウェア更新は設定ツールからも同様に操作できます(☞P.55「ソフトウェア更新」)。

■ 更新の流れ

更新は以下の流れで行われます。

詳細な操作手順は本端末の表示内容に従ってください。

1 更新ファイルのダウンロードおよびインストール

- 更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。

2 再起動

- 更新の準備が整い次第、本端末が自動で再起動されます。
※再起動の直前に確認画面が表示されます。再起動を中止したい場合は、一定時間内にキャンセルボタンをタッチしてください。

■ 注意事項

- ソフトウェア更新完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ソフトウェア更新中、本端末固有の情報(機種や製造番号など)が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- 再起動中は各種機能を利用できません。
- ソフトウェア更新を行うと、一部の設定が初期化されることがありますので、再度設定を行ってください。
- PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードの入力を求められる場合があります。
- ソフトウェア更新に失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。
- 以下の場合はソフトウェア更新ができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - 必要な電池残量がないとき
 - 国際ローミング中
 - [圏外]が表示されているとき
 - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- ソフトウェア更新中は電源を切ったりしないでください。
- 更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。

主な仕様

■ 本体

ソフトウェア更新などにより、変更が生じる場合があります。最新の情報は、ドコモのホームページをご覧ください。

品名	SH-52A	
サイズ	高さ:約84mm、幅:約157mm、厚さ:約16mm(最厚部:約16.2mm)	
重量	約268g	
ディスプレイ	サイズ	約2.4インチ
	種類	TFT
	解像度 (ピクセル数 横×縦)	QVGA (320×240)
	発色数	262,144色
バッテリー容量	4000mAh	
連続待受時間(静止時) ※1※2※3	LTE	約200時間
連続通信時間	5G	約290分
	PREMIUM 4G	約280分
	LTE	約400分
充電時間	ACアダプタ 07:約165分	
通信速度	5G	受信時最大4.1Gbps※4 送信時最大480Mbps※4
	LTE	受信時最大1.7Gbps 送信時最大131.3Mbps
	3G	受信時最大14.4Mbps 送信時最大5.7Mbps
USB	USB3.1 Gen1 Super Speed (Type-C端子)	
無線LAN最大伝送速度	IEEE802.11a:最大54Mbps	
	IEEE802.11b:最大11Mbps	
	IEEE802.11g:最大54Mbps	
	IEEE802.11n(Wi-Fi 4):最大300Mbps(2.4GHz帯、5GHz帯)	
	IEEE802.11ac(Wi-Fi 5):最大867Mbps	
IEEE802.11ax(Wi-Fi 6):最大573Mbps(2.4GHz帯)、最大1201Mbps(5GHz帯)		
有線LAN方式	IEEE802.3bz(2.5GBASE-T)	
	IEEE802.3ab(1000BASE-T)	
	IEEE802.3u(100BASE-TX)	
最大同時接続台数	18台(Wi-Fi: 16台、USB: 1台、有線LAN: 1台)	
VPN対応プロトコル	PPTP、L2TP、IPSec	

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※2 連続待受時間は、設定状況、使用環境や各種機能のご利用頻度により、大きく変動します。

※3 各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。

※4 2020年9月23日以降、受信時最大4.1Gbps/送信時最大278Mbpsに対応です。

2020年冬以降、ソフトウェア更新により受信時最大4.1Gbps/送信時最大480Mbpsに対応予定です。

ソフトウェア更新の内容および期間については、ドコモのホームページをご覧ください。ソフトウェア更新にはパケット通信料がかかります。

■ USBケーブル(試供品)

長さ	約500mm
質量	約23.7g

■ SIM取り出しツール(試供品)

長さ	約23mm
質量	約0.5g

データ通信端末の電波防護への適合性について

この機種SH-52Aは、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)を遵守するよう設計されています。この技術基準は、世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)や米国電気電子学会(IEEE)電磁界安全に係る国際委員会(ICES)が定める電波防護許容値との整合性を考慮しつつ国が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準は電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate, 6GHz以下の周波数の場合)および電力密度(PD: Power Density, 6GHzを超える周波数の場合)で定めており、本データ通信端末に対するSAR, PDの許容値はそれぞれ2W/kg, 2mW/cm²です。また、それぞれの指標で評価すべき無線機能が同時に動作する場合には、総合照射比で示すことを規定しています。総合照射比が1以下であれば、許容値を満足しています。

このデータ通信端末の総合照射比については、通常使用の場合の最大値:0.995(※2)となっています(※3)。データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SAR, PDはより小さい値となります。個々の製品によってこれらの数値に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

通信中は、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準に適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

データ通信端末の電波防護について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/e/e/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

シャープ株式会社のホームページ

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 5G/LTE/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

※3 このデータ通信端末の総合照射比を算出するために使用した値は、SAR 0.865W/kg, PD 1.125mW/cm²です。

Compliance Information on Human Exposure to Radio Waves of Mobile Terminals

This model SH-52A device complies with the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves.

This device was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves (※1). These technical regulations are consistent with the limits of human exposure to radio waves established by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the International Committee on Electromagnetic Safety (ICES) in the IEEE. The permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations set out the limits of exposure to radio waves as the SAR (Specific Absorption Rate, for up to 6 GHz) and the PD (Power Density, for above 6 GHz), and the limits for the SAR and the PD for mobile terminals are 2 W/kg and 2 mW/cm², respectively. If mobile terminal supports simultaneous transmission of the frequency bands which should be evaluated in the SAR and PD, the technical regulations require that the Total Exposure Ratio (TER) should be used to indicate its compliance. The TER of less than or equal to 1 indicates the mobile terminal satisfies the limits.

The TER for this device when tested for intended use described in the instruction manual is 0.995 (※2) (※3). There may be slight differences of the SAR and PD values in individual product, but they all satisfy the limits. The actual values of SAR and PD of this device while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

During communication, please keep the device farther than 1.5 cm away from your body without including any metals. This device is certified the compliance with the Japanese technical regulations.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

<https://www.who.int/peh-emf/publications/factsheets/en/>

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding protection against human exposure to radio waves.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

SHARP Corporation Website:

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/>

※1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.

※2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE/FOMA.

※3 The SAR and PD values used for obtaining TER for this mobile terminal are: SAR of 0.865 W/kg and PD of 1.125 mW/cm².

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested for intended use described in the instruction manual is 1.90 W/kg※.

During communication for body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the devices a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Regulatory information

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SH-52A is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<https://jp.sharp/k-tai/>

Manufacturer's Address:

SHARP CORPORATION,

1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522, Japan

● Description of accessories

USB cable	For charging, peripherals, etc.
nano UIM card	docomo nano UIM card/non-docomo nano UIM cards non-docomo nano UIM cards can be used after SIM-unlocking the terminal.

● Frequency range of supported bands in EU

WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
WCDMA FDD VIII	Tx 882.4 to 912.6 MHz Rx 927.4 to 957.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 7	Tx 2502.5 to 2567.5 MHz Rx 2622.5 to 2687.5 MHz
LTE Band 8	Tx 880.7 to 914.3 MHz Rx 925.7 to 959.3 MHz
LTE Band 20	Tx 834.5 to 859.5 MHz Rx 793.5 to 818.5 MHz
LTE Band 28	Tx 704.5 to 746.5 MHz Rx 759.5 to 801.5 MHz
LTE Band 38	Tx 2572.5 to 2617.5 MHz Rx 2572.5 to 2617.5 MHz
LTE Band 40	Tx/Rx 2302.5 to 2397.5 MHz
WLAN 2.4 GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW:20MHz) Tx/Rx 2422 to 2462 MHz (BW:40MHz)

● Maximum transmit power

WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
WCDMA FDD VIII	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 7	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 8	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 20	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 28	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 38	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 40	+23 dBm (Power Class3)
WLAN 2.4 GHz	+18.0 dBm (ANT0 + ANT1)

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
 - (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your device is a radio transmitter and receiver.

It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model device when tested for intended use described in the instruction manual is 1.38 W/kg.

For body worn operation, this device has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. During communication, please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the device a minimum of 1.0 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid> on FCC ID APYHRO00283.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

FCC ID Location

The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed in the About Device menu.

CAUTION

Use only optional parts specified by NTT DOCOMO.

May cause fires, burns, bodily injury, electric shock, etc. if you use a device other than specified one.

Do not throw the device into a fire or heat it.

May cause fires, burns, bodily injury, etc.

Do not dispose of the device in ordinary garbage.

May cause fires, burns, bodily injury, etc. Also, may damage to the environment. Take the unnecessary device to a sales outlet such as a docomo Shop or follow the instructions by a local institution that handles used devices.

Avoid using the device in extremely high or low temperatures.

Use the device within the range of a temperature between 5° C and 35° C and a humidity between 45% and 85%.

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5° C and 35° C.

Inquiries

General inquiries <docomo Information Center>

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m.)

0120-005-250 (toll free)

※ Service available in: English, Portuguese, Chinese, Spanish.

※ Unavailable from part of IP phones.

(Business hours: 9:00 a.m. to 8:00 p.m. (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

(No prefix) 151 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

● Please confirm the phone number before you dial.

Repairs

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

(In Japanese only)

(No prefix) 113 (toll free)

※ Unavailable from land-line phones, etc.

From land-line phones

(In Japanese only)

0120-800-000 (toll free)

※ Unavailable from part of IP phones.

● Please confirm the phone number before you dial.

● For Applications or Repairs and After-Sales Service, please contact the above-mentioned information center or check the docomo Shop etc. near you on the NTT DOCOMO website and contact.

NTT DOCOMO website: <https://www.nttdocomo.co.jp/english/>

Inquiries from overseas (In case of loss, theft, unconnected, etc.)

(Business hours: 24 hours (open all year round))

From DOCOMO mobile phones

 Display "+" on the screen -81-3-6832-6600 (toll free)

(to enter "+", touch and hold "0".)

※ You can call using international call access code instead of "+".

From land-line phones

 International call access code for the country you stay -81-3-6832-6600 (charges apply)

※ You are charged a call fee to Japan.

※ For international call access codes, refer to DOCOMO website.

● Please confirm the phone number before you dial.

● If you lose your device or have it stolen, immediately take the steps necessary for suspending the use of the device.

● If the device you purchased is damaged, bring your device to a repair counter specified by DOCOMO after returning to Japan.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出又は再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省又は米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して受け取った画像など第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して受け取った他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」、「WORLD WING」、「spモード」、「Premium 4G」、「Wi-Fi STATION」ロゴ、「5G」ロゴは(株)NTTドコモの商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Internet Explorer®、Microsoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Mac、macOS、iPad、iPhone、iPod touch、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Nintendo Switchは任天堂の商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access®(WPA)、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Google、Android、Google Chromeは、Google LLC の商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/sh52a/index.html>
- GPLに基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/sh52a/index.html>

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除の手続きの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

- 本端末のSIMロック解除は、ドコモショップで受付しております。
- SIMロック解除には日数がかかりますので、あらかじめご了承ください。

あ

安全上のご注意(必ずお守りください).....	5
一般的なWi-Fi対応機器を接続する.....	25
インターフェイス.....	51
お問い合わせ.....	63
オフまでの時間.....	60
主な仕様.....	74

か

海外でご利用になる前に.....	62
海外で利用可能なサービス.....	62
海外で利用するための設定.....	63
各部の名称と機能.....	14
画面設定.....	60
画面点灯時間.....	60
画面の明るさ.....	60
画面の見かた.....	21
画面ロック.....	60
帰国後の確認.....	63
クイック起動.....	61
国際ローミング.....	63
国際ローミング(WORLD WING)の概要.....	62
故障かな?と思ったら.....	69

さ

時刻設定.....	60
充電.....	18
数字の入力.....	22
スリープ設定.....	60
スリープモード設定.....	52
スリープモードタイマー.....	52
セカンダリDNS.....	48
セキュリティ(暗号化方式).....	51
接続可能台数.....	51
接続端末.....	46
接続リスト.....	46
設定.....	47, 59
設定ツール画面の見かた.....	45
設定ツールについて.....	43
設定ツールを表示する.....	44
セットアップについて.....	23
送信元IPアドレス(任意).....	49
ソフトウェア更新.....	72

た

対応機器を確認する.....	24
対応するWebブラウザ.....	43
タイムゾーン自動設定.....	60
タイムゾーン選択.....	60
タッチパネルの使いかた.....	22
端末情報.....	56
端末設定.....	54
端末でSSIDとパスワードを表示する.....	51
知的財産権について.....	80
通信事業者の設定.....	63
データ通信端末の電波防護への適合性について.....	75
データ通信量.....	58
電源を入れる/切る.....	20
電池性能表示.....	61
ドコモnanoUIMカード.....	15
トラブルシューティング(FAQ).....	69

取り扱い上のご注意.....	11
----------------	----

な

ネットワーク検索.....	47
ネットワークモード.....	47, 63

は

パスワード.....	51
パソコンに接続して充電.....	19
日付と時刻.....	63
プライバシーセパレーター.....	51
プライマリDNS.....	48
プロトコル.....	49
方向.....	49
ホストIPアドレス.....	48
ホストサブネットマスク.....	48
本端末のご利用について.....	2
本端末の本体メニューについて.....	57

ま

マルチSSID.....	51
メニュー一覧.....	64
メニュー一覧(Webブラウザ).....	64
メニュー一覧(本体メニュー).....	68
目次.....	1
モバイルネットワーク.....	59
モバイルネットワーク設定.....	47

や

輸出管理規制.....	80
-------------	----

ら

リース時間(分).....	48
ルール名.....	49

英数字

ACアダプタで充電.....	19
Android搭載端末を接続する.....	34
APNプロファイル選択.....	59
DCアダプタで充電.....	19
DHCPサーバー.....	48
DHCP範囲.....	48
DMZ.....	50
DMZ IPアドレス.....	50
DNS設定.....	48
iPhone/iPod touch/iPadを接続する.....	37
IPアドレスフィルタリング.....	48
IPタイプ.....	49
Language Setting.....	60
LAN IPアドレス.....	49
LANケーブルで接続/通信する.....	42
LAN設定.....	48
LANポート.....	49
MACアドレスフィルタリング.....	46
Macを接続する.....	32
Nintendo Switchを接続する.....	39
PIN管理.....	48
PINロック.....	48
PINを入力.....	48
SIMロック解除.....	80
SSID.....	51
SSID BユーザーのWeb設定ツールへのアクセス.....	51

SSID間通信隔離	51
SSIDステルス	51
TCP NATタイマー(秒)	52
UDP NATタイマー(秒)	52
USBケーブルで接続／通信する	41
USBモード	61
WAN IPアドレス	49
WANポート	49
WANポートPINGブロック	48
web設定ツールの表示	61
Wi-Fi	51, 59
Wi-Fi暗号化強化(PMF)	51
Wi-Fiスリープ設定	60
Wi-Fi設定	51, 59
Wi-Fi送信出力	52
Wi-Fi帯域幅	52
Wi-Fiチャンネル	52
Wi-Fiで接続／通信する	25
Windowsを接続する	27
WORLD WING	62
3G	63
4G／3G	63
5G／4G／3G(Auto)	63
24時間表示を使う	60

オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・ 各種お手続きなど

パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>)

- システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
- 「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID/パスワード」が必要です。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

■ 運転中の場合

自動車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、操作をすることは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。



ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ(自社・他社製品を問わず回収)

総合お問い合わせ先 ＜ドコモ インフォメーションセンター＞

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの)151(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9:00～午後8:00 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。

ドコモのホームページ <https://www.nttdocomo.co.jp/>

故障お問い合わせ・修理お申込み先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの)113(無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

 0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間 (年中無休)

海外からのお問い合わせ先(紛失・盗難・つながらない場合など)

■ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示

-81-3-6832-6600(無料)

(「+」は「0」をロングタッチします。)

※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号

-81-3-6832-6600(有料)

※日本向け通話料がかかります。

※国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間 24時間 (年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

試供品のお問い合わせ先

シャープ データ通信サポートセンター

TEL 050-5846-5411

受付時間 平日 10:00～17:00 (土・日・祝日および所定の休日を除く)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●試供品については、本書内でご確認ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



キケン!
水ぬれ充電



あぶない!
電池への衝撃



Li-ion00

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 シャープ株式会社

‘20.5(1.6版)
20E MK86①